

令和3年度

# 事業結果報告書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

I	はじめに	1
II	実施事業	
<b>1.</b>	<b>社協運営及び機能強化</b>	<b>3</b>
1-(1)	法人運営管理	3
	① 理事会	
	② 評議員会	
	③ 監査会	
	④ 正副会長会	
	⑤ 重点事業推進会議	
	⑥ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会	
	⑦ 八市社協会	
1-(2)	広報	9
	① 社協だより・刊行物等の発行	
	② ホームページ	
1-(3)	社協会費、募金等	10
	① 社協会費	
	② 日赤会費	
	③ 共同募金	
1-(4)	研修啓発、講座	13
	① 松江市社会福祉大会	
	② 健康福祉フェスティバル	
	③ 第71回松江市民余芸大会	
1-(5)	篤志寄付金配分事業の推進	13
1-(6)	共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）	14
<b>2.</b>	<b>地域福祉及び連絡調整の強化</b>	<b>14</b>
2-(1)	第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定推進	14
2-(2)	地域福祉の推進	15
	① コミュニティソーシャルワークの展開	
	② 地区社協・各種団体との連携	
	③ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）	
	④ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議	
	⑤ 福祉推進員代表者会	
	⑥ 福祉推進員研修会	
	⑦ あったかスクラム事業の支援	
	⑧ 生活再建おうちクリーニング事業	
2-(3)	広域福祉事業の推進	27
	① 福祉サービス利用援助事業の推進	
	② 法人成年後見事業	
<b>3.</b>	<b>ボランティア活動及び福祉教育</b>	<b>29</b>
3-(1)	コーディネート機能強化	29
3-(2)	ボランティアの育成、養成	30

① 育成研修		
② 養成研修		
3-(3) ボランティアの活動支援	_____	30
① ボランティアルームの開放、備品の貸し出し及び保険の加入促進		
② ボラカフェの開催		
③ おうち de ボランティアの実施		
④ 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援		
⑤ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援		
⑥ 松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援		
⑦ 松江市建築組合青年部ボランティア活動支援		
3-(4) 福祉教育の推進	_____	33
3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化	_____	34
3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施	_____	35

#### 4. 在宅生活支援事業の推進 35

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み	_____	35
① 地域包括支援センター事業の推進		
② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進		
③ 生活支援コーディネーター設置事業		
④ 認知症地域支援推進事業		
4-(2) 各種貸付相談	_____	45
① 生活福祉資金の貸付		
② 民生融金の貸付		
4-(3) 福祉サービス	_____	46
① 福祉サービスの実施		

#### 5. 公的福祉サービス受託事業の推進 47

5-(1) なごやか寄り合い事業	_____	47
5-(2) まつえ障がい者サポートステーション絆の運営	_____	49
5-(3) 生活困窮者自立支援事業（松江市くらし相談支援センター）	_____	49
① 自立相談支援事業		
② 一時生活支援事業		
③ 住居確保給付金		
④ 家計改善支援事業		
⑤ 就労準備支援事業		
⑥ 入居債務保証制度		
⑦ フードバンク事業		
⑧ 助っ人弁護士制度		
5-(4) 高齢者あんしんサポート事業	_____	52
5-(5) 松江市成年後見中核機関運営事業（松江市権利擁護推進センター）	—	53
① 相談受付業務		
② 利用促進業務		
③ 後見人支援業務		
④ 広報・啓発業務		

⑤ 地域連携ネットワークの構築

<b>6. 介護保険関係事業の推進</b>	<b>59</b>
6-(1) 松江社協介護センターの経営	59
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(2) 美保関介護センターの経営	61
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
③ 通所介護事業及び介護予防通所介護事業	
④ 美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー	
6-(3) 松南介護センターの経営	63
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(4) 宍道介護センターの経営	64
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(5) 介護センターの研修等の推進	65
① 介護支援専門員資質向上事業	
② 訪問介護員内部研修	
③ 居宅介護支援専門員内部研修	
6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託	66
<b>7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進</b>	<b>67</b>
7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	67
① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
② 美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	
④ 宍道障がい者居宅介護事業	
<b>8. 児童福祉サービスの推進</b>	<b>70</b>
8-(1) 児童センター等の受託運営	70
① 八雲児童センター運営事業	
② 八雲児童・子育て事業	
8-(2) 子ども食堂の取り組み	71
8-(3) みんなのいこい食堂	71
<b>9. 福祉施設等管理運営事業の受託</b>	<b>71</b>
9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業	71
9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業	72
9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業	72
<b>10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進</b>	<b>72</b>
10-(1) 重層的支援体制整備事業	72

- ① 多機関協働事業
- ② アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- ③ 参加支援事業
- ④ 地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

## 11. 災害支援 76

11-(1) 島根町大規模火災に伴う災害ボランティアセンターの開設	—————	76
11-(2) 7月大雨災害支援支援派遣	—————	77
① 雲南市災害ボランティアセンターの職員派遣		
② 宍道地区5区自治会水害支援		
11-(3) 災害ボランティアセンター立上げ訓練	—————	78
11-(4) 松江市災害ボランティアセンターマニュアルの改訂	—————	78
11-(5) 災害時における支援に関する協定の締結	—————	79

### 組織・機構

※職員数一覧表	—————	80
---------	-------	----

## I はじめに

長引くコロナ禍の影響により、市民生活に大きな打撃を受けた1年でした。様々な地域生活課題（孤独死、ひきこもり、老々介護、8050、ヤングケアラー、社会的孤立等）を抱えた市民にはコロナがさらに追い打ちをかけ、経済的にも精神的にも不安定な生活を送っている人への支援が引き続き求められています。

このような状況下ではありましたが、本会では、新たに「重層的支援体制整備事業」を受託し、複合化・複雑化した地域生活ニーズへの支援に努めるとともに、「松江市権利擁護推進センター」を開設し、これからさらに必要がせまられる権利擁護ニーズに対応すべく体制整備や啓発の強化を図りました。

4月には、島根町加賀で大規模火災が発生しました。発生直後から松江市、地元公民館、地区社協、自治会と連携協働し、平成18年の豪雨災害以来の「松江市災害ボランティアセンター」を立ち上げることになり、改めて、災害に強いまちづくりのあり方や災害ボランティアセンターマニュアルの見直し等、事前に備えておくことの必要性について考える契機となりました。

また、地域包括支援センターに配置したコミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センターの保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーとチームで、さらには社協各課の垣根を超え、職員一丸となって本会事業方針である「あらゆる生活課題への対応」「地域のつながりの再構築」を大切にしながら、事業を推進しました。

令和3年度は、以下の事業を重点的に取組みました。

### 1. 重層的支援体制整備事業の推進

生きる上での困難・生きづらさはあるが既存の制度の対象となりにくいケースや、いわゆる「8050」やひきこもり等、個人・世帯が複数の生活上の課題を抱え、課題全体を捉えて支援していくことが必要なケースに対して、断らず、まずは受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援（ふくしなんでも相談所）」「アウトリーチ支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の4つの支援を一体的に実践しました。

### 2. 松江市権利擁護推進センターの受託及び地域連携ネットワークの構築

権利擁護支援・成年後見制度の利用促進機能を強化するため、中心的な役割を担う中核機関として「松江市権利擁護推進センター」を受託し、令和3年7月より開設しました。相談、広報啓発、受任者調整、担い手養成、後見人支援について、家庭裁判所、法テラス島根、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等と連携し、相談から受任調整、後見人支援までの体制整備を図りました。特

に、後見人支援では、親族後見人の交流会の開催や市民後見学びの会の支援等、権利擁護の視点に立った新たなつながりづくりに取り組みました。

### 3. 地域福祉活動の推進

古志原地区では、ケアハウス古志原ヒルズと地元自治会との協働による「市営古志原アパート買い物支援ツアー」、島根地区では、大規模火災のため被災した大津地区住民の日常のつながりを取り戻す「つながりサロン」の開催、竹矢地区「青葉台すこやかライフを推進する会」では、住民主体の通所サービスBの立ち上げ等、それぞれの地域に実情に合った地域福祉活動の支援を行いました。

コミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センターがチームとなって地域に入り、住民の生活ニーズを把握し、地域の困りごとを地域住民とともに考え、具体的な実践を展開しました。

### 4. 地域包括支援体制実現に向けた事業の推進

市内14か所の「ふくしなんでも相談所」で、「断らない相談支援」の実践や6つの地域包括エリアのグループリーダーとコミュニティソーシャルワーカーが中心となって、より住民に身近な拠点での包括的な支援体制づくりを進めてきました。そして、新たにスタートした「重層的支援体制整備事業」と連携し、福祉分野を超えた多機関と協働しながら、課題解決に向けた支援を行いました。

また、核家族化、高齢化に加え、地域の間人関係の希薄化により、地域で孤立する人が増えてきています。親族がいない、または親族がいても援助が受けられない人、いわゆる「身寄りなし問題」に対して、共通のルールを示すことによって、身寄りのない人でもスムーズに医療や介護・福祉のサービスが受けられるよう「松江市身寄りがない人への支援ガイドライン」を作成しました。

### 5. コロナ禍における生活困窮者等への継続的支援

新型コロナの影響による減収や失業された方に対して、特例貸付やひとり一品運動でご寄付いただいた食料品等をフードパントリー等の方法で提供しました。ただ、具体的支援としての貸付や食料品の提供だけでは限界もあり、支援できるメニューも限られています。松江市くらし相談支援センターを中心に、生きづらさを抱えた市民に対し、孤立することがないように関係機関と連携して「寄り添う」伴走型の支援を実践しました。

## II 実施事業

### 1. 社協運営及び機能強化

#### 1-(1) 法人運営管理

【総務課】

社会福祉法人制度改革に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実に、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。

#### ①理事会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 3 年 5 月 31 日 (月) 9:30～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</li> <li>出席者 総数 20 名中 18 名 監事 2 名</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター訪問介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号訪問事業訪問サービス運営規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター障害者総合支援法居宅介護事業及び同行援護事業事業運営規程の一部改正について</li> <li>・美保関介護センター通所介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・松南介護センター居宅介護支援事業運営規程の一部改正について</li> <li>・令和 2 年度事業結果報告について</li> <li>・令和 2 年度会計収支決算について</li> <li>・令和 3 年度会計第 1 号補正予算について</li> <li>・評議員の推薦について</li> <li>・役員の推薦について</li> <li>・令和 3 年度第 1 回評議員会の開催について</li> <li>・評議員選任解任委員の選任について</li> <li><u>以上原案どおり可決</u></li> <li>・災害ボランティアセンター活動報告 (島根町加賀火災)</li> <li>・令和 4 年 4 月採用正規職員募集について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美保関菅浦地区の住民主体の移送サービス事業の活動のような活動への引き続きの支援について</li> <li>・銀行支店閉鎖が続く中で会費や募金等をコンビニ等からの振込を含めた納入方法の拡大の検討について</li> <li>・地区社協事業の中にある高齢者の一人暮らしの会の立ち上げについて</li> <li>・生活福祉資金の中の教育資金・就学資金の貸付について</li> <li>・松江市職員と社協職員との給与格差の状況について</li> <li>・コロナ禍における香典返し等の篤志寄付金の影響及び地区への配分割合について</li> </ul>

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 3 年 6 月 15 日 (火) 14:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール</li> <li>出席者 総数 19 名中 17 名 監事 2 名</li> <li>・会長及び副会長の選任について</li> <li>・専務理事及び常務理事の選任について</li> <li>会長及び副会長については選考委員会の提案、その他は <u>原案どおり可決</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局案の提示依頼により、選考委員会を設置し選考の結果、松浦正敬理事を新会長に推薦され承認。副会長には中島秀夫理事が留任、三宅克正理事が新任で承認</li> </ul>
第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 3 年 12 月 13 日 (月) 10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</li> <li>出席者 総数 19 名中 13 名 監事 3 名</li> <li>・職員の給与に関する規程の一部改正について</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター居宅介護支援事業運営規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター訪問介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号訪問事業訪問サービス運営規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号訪問事業訪問型サービス A 運営規程の一部改正について</li> <li>・美保関介護センター通所介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・美保関介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業通所サービス運営規程の一部改正について</li> <li>・美保関介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業通所型サービス A 運営規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター障害者総合支援法居宅介護事業及び同行援護事業事業運営規程の一部改正について</li> <li>・令和 3 年度会計第 2 号補正予算について</li> <li>・自動車保険フリート契約 (任意保険) の締結につ</li> </ul>	

事業名等	内 容	質疑・意見等
第3回（続き）	<p>いて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度第2回評議員会の開催について <u>以上原案どおり可決</u></li> <li>・令和3年度事業の実施状況について報告</li> </ul>	
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年3月23日（水）10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室</li> <li>出席者 総数19名中17名 監事2名</li> <li>・定款の変更について</li> <li>・就業規程の一部改正について</li> <li>・嘱託・臨時職員就業規程の一部改正について</li> <li>・無期転換嘱託・臨時職員就業規程の一部改正について</li> <li>・育児休業及び介護休暇等に関する規程の一部改正について</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・指定一般相談支援事業運営規程の廃止について</li> <li>・各介護センター障害者総合支援法居宅介護事業及び同行援護事業事業運営規程の一部改正について</li> <li>・令和3年度会計第3号補正予算について</li> <li>・令和4年度事業計画について</li> <li>・令和4年度会計予算について</li> <li>・総合福祉センター清掃業務契約の締結について</li> <li>・総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結について</li> <li>・美保関介護センター給食業務契約の締結について</li> <li>・令和3年度第3回評議員会の開催について</li> <li>・美保関介護センター通所介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・美保関介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業通所サービス運営規程の一部改正について</li> <li>・美保関介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業通所型サービスA運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに松江市が設置する障がい者基幹支援センターについて</li> <li>・要配慮者支援事業の推進内容について</li> <li>・第5次地区地域福祉活動計画の実践への具体的支援について</li> <li>・コロナ禍における福祉ボランティアポイント事業の状況と、来年度の見通しについて</li> <li>・社協だよりのカラー化による発行の提案について</li> <li>・子ども食堂等子どもの活動の事業推進について</li> <li>・ボランティアセンターと市民活動センターの連携について</li> <li>・美保関介護センター通所介護事業等（デイサービス）の営業日を土曜日休日とし、週6日間から週5日間に縮小する理由と、土曜日の利用者について行先の確保等事業者としての対応の状況について</li> </ul>

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 4 回（続き）	<p>規程の一部改正について</p> <p><u>以上原案どおり可決</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市財政援助団体等監査及び社会福祉法人実地指導監査結果報告</li> <li>・本会作成 DVD 成年後見制度啓発ミニドラマ「つばきさんの一生」の説明と上映</li> </ul>	
その他決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 4 年 3 月 28 日（月）付 書面による審議</li> <li>同意者数 対象理事 19 名 監事 3 名提案異議なし</li> <li>・理事の推薦について</li> <li>・施設長の任免について</li> </ul>	

## ②評議員会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 3 年 6 月 15 日（水）9:30～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4階 大ホール</li> <li>出席者 総数 24 名中 18 名 監事 1 名</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・令和 2 年度事業結果報告について</li> <li>・令和 2 年度会計収支決算について</li> <li>・令和 3 年度会計第 1 号補正予算について</li> <li>・役員を選任</li> <li><u>以上原案どおり可決</u></li> <li>・災害ボランティアセンター活動報告（島根町加賀火災）</li> <li>・令和 4 年 4 月採用正規職員募集について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により介護認定の訪問件数の激減や、貸付業務が繁忙する状況の中での、職員の配置や業務体制について</li> <li>・貸付事業において返済時期が来たとき返済能力がない方への対応や対策について</li> </ul>
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 3 年 12 月 21 日（火）10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4階 教養室</li> <li>出席者 総数 24 名中 20 名</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・令和 3 年度会計第 2 号補正予算について</li> <li><u>以上原案どおり可決</u></li> <li>・令和 3 年度事業の実施状況について報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急小口資金、総合支援資金の貸付の償還期間について</li> <li>・貸付と自立支援給付金の併用について</li> <li>・公民館の福祉担当職員の身分と、退職後の補充について</li> <li>・公民館福祉担当職員の研</li> </ul>

事業名等	内 容	質疑・意見等
第2回（続き）		修と、市社協との人事交流について
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年3月29日（火）</li> <li>場所 松江市総合福祉センター 4階 教養室</li> <li>出席者 総数24名中20名</li> <li>・定款の変更について</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・令和3年度会計第3号補正予算について</li> <li>・令和4年度事業計画について</li> <li>・令和4年度会計予算について</li> <li>・理事の選任について</li> <li>以上原案どおり可決</li> <li>・松江市財政援助団体等監査及び社会福祉法人実地指導監査結果報告</li> <li>・本会作成 DVD 成年後見制度啓発ミニドラマ「つばきさんの一生」の説明と上映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事の報酬総額年間12,000,000万円以内の根拠について</li> <li>・親族後見人交流会の周知方法について</li> <li>・福祉ボランティアポイント事業の実態について</li> <li>・地域包括支援センターの相談対象者とふくしなんでも相談の周知について</li> <li>・社会福祉法人連絡会によるふくしなんでも相談所の窓口開設について</li> <li>・タブレット端末使用による授業開始に伴う、市立皆美が丘女子高校の対応について</li> </ul>

### ③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

事業名等	内 容	質疑・意見等
監査会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年5月21日（金）10:00～</li> <li>場所 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>内容 令和2年度 事業報告、会計収支決算監査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書、財務諸表正確であり不整の点なし</li> </ul>

### ④正副会長会

事業名等	内 容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年5月25日（火）11:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>出席者 会長1名、副会長2名</li> <li>・第1回理事会議案・第1回評議員会議案等について</li> </ul>

事業名等	内 容
第1回（続き）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター活動報告（島根町加賀火災）</li> <li>・令和4年4月採用正規職員募集について</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年12月6日（月）11：00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>出席者 会長1名、副会長2名</li> <li>・第3回理事会・第2回評議員会議案等について</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年3月17日（木）11：00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>出席者 会長1名、副会長2名</li> <li>・第4回理事会・第3回評議員会議案等について</li> </ul>

#### ⑤重点事業推進会議

専務理事、事務局長、各課の課長、係長が参加し、毎月第4水曜日に重点事業推進会議を開催して、各課が年度当初にあげた重点事業について、事務局長や他課からの意見を伺いながらその進捗管理を行い、社協全体で情報を共有しました。

事業名等	回数	内 容
重点事業推進会議	12回	重点事業進捗管理と情報の共有

#### ⑥中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

中国及び四国地域の都市社協で構成し、情報発信や提言・提案活動を展開することで、地域福祉の本格的な推進と社協組織の基盤強化を図ることを目的とし設置している「中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会」の事務局を本年度より2年間本会が受けることとなり会の運営を行いました。コロナ禍により一堂に会することはできませんでしたが、オンライン等により以下のとおり事業を実施しました。

事業名等	内 容
事務局引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年7月14日（水）16：00～</li> <li>場所 総合福祉センター1階会議室（zoomによる開催）</li> <li>出席者 山口市社協：事務局長 本会：事務局長、総務課長、総務係長</li> </ul>
監査会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年7月26日（月）付 書面による監査</li> <li>監事 大田市社協事務局長、総社市社協事務局長</li> <li>・令和3年度 事業報告、会計収支決算監査</li> </ul>

事業名等	内 容
運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年10月6日(水) 15:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室 (zoomによる開催)</li> <li>出席者 会長(代理出席)、監事2名、運営委員5名</li> <li>内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第58期事業報告及び決算、第59期事業計画(案)及び予算(案)、規約の一部改正について承認</li> <li>・第59期の総会についてはコロナ禍により、書面による審議とし、研修会及び情報交換会は改めてzoomにより開催することを決定</li> </ul> </li> </ul>
総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年10月29日(金) 付 書面による審議</li> <li>内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第58期事業報告及び決算、第59期事業計画(案)及び予算(案)、規約の一部改正について</li> <li>・会員40都市社協全てが全議案について賛成し承認</li> </ul> </li> </ul>
研修会 情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年1月31日(月) 13:30～16:00</li> <li>場所 総合福祉センター 会議室、4階教養室 (zoomによる開催)</li> <li>参加者 26都市社協役職員(1社協2組以内)</li> <li>内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>【講演会】</li> <li>「包括支援体制の構築にむけて社会福祉協議会に求められるもの」</li> <li>講師 日本福祉大学社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏</li> <li>【情報交換会】</li> <li>テーマ「コロナ禍における社協活動の課題」</li> <li>「コロナ禍によりつながりが希薄になっている状況の中で、社協で工夫していること」</li> <li>6グループに分かれディスカッションの後、全体で報告</li> </ul> </li> </ul>

## ⑦八市社協会

今年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業、研修会等は開催されませんでした。

## 1-(2) 広報

【総務課】

### ①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年6回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また視覚障がい者の方へもよりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

年6回発行(5月・7月・9月・11月・1月・3月) A4版 白黒 6ページ

巻数	発行月	発行部数	表紙の内容
第133号	令和3年5月	1号につき	「ひとり一品運動」のお願い、ボラカフェのご案内
第134号	令和3年7月	77,900部 (音訳)	松江市権利擁護推進センターOPEN!!
第135号	令和3年9月		会長就任のあいさつ、共募10月1日スタート
第136号	令和3年11月	137部	「共同募金」のお願い
第137号	令和4年1月	(点訳)	松江市社協から新年のご挨拶
第138号	令和4年3月	63部	「ふくし教育」プログラム集の紹介

②ホームページ <http://www.shakyou-matsue.jp/>

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報をタイムリーに発信するように努めました。

項目	令和3年度	令和2年度
ユーザー数	27,893件	27,642件

1-(3) 社協会費、募金等

①社協会費

【総務課】

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

◆令和3年度 社協会費

(単位：円)

区分	件数	金額	R2年度実績
一般会費	810自治会	25,573,634	26,027,035
特別会費	15件	56,000	55,000
団体会費	69件	283,000	251,000
法人会費	117件	660,000	670,000
計		26,572,634	27,003,035

※一般会費とは 1世帯当たり 800円

※特別会費とは 個人で一口 2,000円以上

※団体会費とは 福祉施設対象で一口 3,000円以上

※法人会費とは 企業対象で一口 5,000円以上

②日赤会費

【総務課】

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、会員へのご加入と会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長 上定昭仁(市長)

## ◆令和3年度 日赤会費

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	R2 年度実績
普通会費	807 自治会	20,517,220	21,118,636
特別会費	26 件	66,000	85,000
法人会費	106 件	779,000	724,000
計		21,362,220	21,927,636

※普通会費とは 1世帯当たり 700 円以上

※特別会費とは 個人 1 回 2,000 円以上で積立 20,000 円以上

※法人会費とは 企業対象

## ③共同募金

【総務課】

今年度も 10 月 1 日から 12 月 31 日まで、全国一斉に行われ、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大予防に留意し運動を行いました。街頭募金、市民余芸大会は中止となりましたが、新たに企業ボランティア松江ネットワーク会議で募金箱設置の協力を頂くなど、募金額としては昨年度の実績を上回ることができました。

なお、次年度の配分については、今年度の募金実績のみでは要望に添えない状況であり、募金実績には含まれませんが、JRA（日本中央競馬会）から「新型コロナウイルス感染症拡大下における福祉活動支援助成金」1,803,306 円を活用し、次年度の配分に充てることとなりました。

## ◆令和3年度共同募金

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	R2 年度実績
戸別募金	796 自治会	21,635,298	21,911,019
街頭募金(主に募金箱)	28 カ所	223,265	130,902
法人募金	274 件	1,554,874	1,316,096
学校募金	42 校	875,780	755,068
職域募金	96 件	769,500	584,550
イベント募金	18 件	131,511	0
物品募金	—	677,700	947,895
個人募金・その他募金	—	916,878	850,507
計		26,784,806	26,496,037

## ◆募金活動

募金種別	内 容
戸別募金	①各地区自治会・町内会連合会長を通して、各地区世帯へ依頼。 ②随時、各公民館区で協力依頼を実施。
街頭募金 (募金箱含む)	①10 月 1 日一斉街頭募金（コロナ禍により未実施） ②スサノオマジックホームゲーム 共同募金ブース 4 試合出展

募金種別	内 容
街頭募金 (募金箱含む) (続き)	③常設募金箱： 新規協力店 ・カットサロンのま ・ストリーム ・松江クロード ④企業ボランティア松江ネットワーク会議 募金箱協力 12 社 ・(株)佐藤組 ・松江商工会議所 ・松江土建(株) ・まつえ北商工会 ・SC アドクロス(株) ・カナツ技建工業(株) ・まるか建設(株) ・(社福)湖北ふれあい ・サンベ電気(株) ・(株)赤徳商店 ・島根トヨペット(株) ・(株)島根銀行
法人募金	①企業等へダイレクトメール ②本会役職員、事務局による訪問及び協力依頼 ③地区社協選出の募金ボランティアによる訪問及び協力依頼
学校募金	市内小中学校にドラえもん募金箱等を配布し協力依頼 協力学校へはお礼状送付、依頼により贈呈式を実施
職域募金	図書カード・クオカード等を通じた募金依頼 市関係機関、民児協、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼
イベント募金	①公民館文化祭等行事 ②各種団体開催イベント ③松江市民余芸大会 (コロナ禍により中止)
物品募金	①園山俊二シリーズのマスクを製作。公民館、事務局等を窓口とし募金を呼びかける 市関係機関、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼 ②県共募製作のピン・缶バッジ、エコバッグ等で募金を呼びかける 関係機関、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼 ②ガチャガチャの常設設置： ・松江歴史館 ・玉造温泉ゆ〜ゆ ・堀川遊覧船事務所 ・松江フォーゲルパーク 新設 ・松江クロード
個人募金・ その他募金	①募金百貨店プロジェクト 7 店舗 新規協力店 ・松江クロード ②赤い羽根自動販売機 18 カ所 ③個人等その他

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移

(単位：円)

区 分	R3 年度	R2 年度	R1 年度	H30 年度	H29 年度
社協会費	<b>26,572,634</b>	27,003,035	27,655,629	28,664,712	29,139,754
日赤会費	<b>21,362,220</b>	21,927,636	22,503,496	23,169,580	23,736,167
共同募金	<b>26,784,806</b>	26,496,037	28,850,565	30,907,732	31,115,477
計	<b>74,719,660</b>	75,426,708	79,009,690	82,742,024	83,991,398

#### 1-(4) 研修啓発・講座

【総務課】

##### ①松江市社会福祉大会

今年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催しませんでした。

なお、会長表彰及び感謝状の贈呈については、訪問により授与しました。

○民生委員功労者表彰 4名 ○福祉推進委員功労者表彰 45名

○社会福祉施設及び団体役員功労者表彰 8名

○社会福祉施設及び団体職員功労者表彰 46名 ○松江市社会福祉協議会長感謝 6名

【地域福祉課】

##### ②健康福祉フェスティバル

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催しませんでした。

##### ③第71回松江市民余芸大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催しませんでした。

#### 1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの善意の預託（寄付）金品をお預かりし、預託された方の意志に基づき地区社協や福祉団体・ボランティア団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、社会福祉事業の推進に役立てられました。

また、葬儀の形態が変化していること等から香典返し寄付金が減少傾向にあり、今後も継続的に本事業を活用していただける体制を整えていくために検討委員会を設けて、寄付の受入や配分の方法について検討を行い、要綱・要領の見直しをしました。

(収入)

単位：円

区 分	R3年度		R2年度	
	寄付金収入	957件	25,926,600円	930件

(支出)

区 分	R3年度		R2年度	
	福祉団体助成金	19件	3,858,463円	24件
地区配分金	29件	13,984,800円	29件	14,337,392円
地域援助費	52件	4,618,179円	49件	3,359,284円
指定寄付金	9件	205,000円	14件	262,000円
助成金支出	2件	80,000円	3件	60,000円
社協事業費支出	1件	1,000,000円	1件	1,350,000円

区 分	R3 年度		R2 年度	
事務費支出		424,361 円		154,702 円
計	112 件	24,170,803 円	141 件	23,939,986 円

(収支)

資金収支差額	1,755,797 円	2,213,798 円
次期繰越金	14,335,386 円	12,579,589 円

## 1-(6) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【総務課】

NPO 法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【令和3年度募金（令和4年度事業）】

◆地域福祉活動推進事業（公募配分）

決定総額 1,639,500 円

	申請団体名	事業名
1	成相寺自治会	児童公園の整備・児童の健全育成事業
2	凧北台いきいきライフを推進する会	高齢者生活実態調査事業
3	青葉台コーラス	「コーラス」で健康いきがづくり事業
4	特定非営利活動法人 おやこ劇場松江センター	地域こどもフェスティバルの開催 「不思議ってすてき」「マジカル1・2・3」
5	特定非営利活動法人 まごころサービス松江センター	市民悩みごと電話相談
6	法吉地区社会福祉協議会	外国人の方々と多文化共生事業
7	特定非営利活動法人 福祉ネットだんだんネ	障がい者就労支援事業所情報発信事業
8	特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	障がい児のための音楽ワークショップ 「たのしい楽団」の開催・運営
9	古江地区社会福祉協議会	古江あったかスクラム 20 周年記念事業

## 2. 地域福祉及び連絡調整の強化

### 2-(1) 第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定推進

【地域福祉課】

第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画普及版《EPISODE：つばきさんの一生》《EPISODE II：第2子も松江で!》を作成し、市民・関係機関の皆様方と推進したい事項について取り上げました。

この普及版を利用して関係諸団体への研修を行いました。また、他市町村や社協に対して情報提供を行いました。

## 2-(2) 地域福祉の推進

【地域福祉課】

### ①コミュニティソーシャルワークの展開

令和元年度からコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を各包括支援センターと同じ事務所に配置することで、より住民の身近な場所で相談を受ける体制をつくりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。また、地域で必要な社会資源の開発(移送サービス、買い物支援、居場所づくりなど)を行いました。

#### ◆CSWにおける個別ケースへの支援状況(6エリア合計)

支援内容	回数
個別支援ケース実数	115人
個別支援ケース延べ対応数	636回
関係機関や関係者に対して行った働きかけ	352人

#### ◆CSWにおける地域での新たな取り組み

##### ○中央地域包括支援センターエリア

###### 【第二湊北台てらこや】(城北地区)

第二湊北台では集会所を活用し、毎月第2土曜日に主に小学生が集まって勉強をする寺子屋事業を展開しています。運営のスタッフは島根県立大学の学生を中心に、地区住民や保護者が協力し、勉強を教えたりレクリエーションを考えたりしています。

集会所がある県営第二湊北台団地には、高齢者、シングルマザー、外国人等、様々な住民が暮らしており、寺子屋を中心に子どもだけでなく住民誰もが集える場づくりを今後展開する予定です。

###### 【松尾会館スタッフ会】(雑賀地区)

住民の高齢化が進む松尾町は町全体が土砂災害の警戒区域に指定されており、災害発生時の避難が円滑にできるか懸念されます。日頃から住民同士が顔の見える関係を構築し、かつ関係者が住民の把握を行うための情報共有を行うべく、2か月に1回の頻度でスタッフ会を実施しました。

メンバーは松尾会館職員、民生委員、福祉推進員、市社協CSW・包括の5名で、互いの役割や危険箇所の把握等情報交換を行いました。

###### 【あまころエール弁当】(朝日・雑賀・白潟地区)

地元中学校の先生から、夏休みなどの長期休暇中は子どもたちの「食」の支援が求められるという相談をきっかけに、松江市立第三中学校の生徒を対象にお弁当の提供を行いました。

第三中学校が所在する朝日・雑賀・白潟地区に事業所を置く8社の企業から協賛金を募ることで500円相当のお弁当を100円で提供し、夏休みの5日間で延べ72名の中学生とそのご家族に141個のお弁当を提供することができました。

お弁当の受け渡し時には、日頃地域で見守り活動を行う福祉推進員の皆様にご協力いただき、地域の方から中学生に直接お弁当を渡すことでエールを送りました。

後日三中生徒会の皆様から、「地元の人が応援してくれていることが伝わり励みになった」、「コロナ禍で制限はあるが、部活の大会を頑張りたい」とメッセージをいただきました。

#### ○松北地域包括支援センターエリア

##### 【ひきこもり家族の集い】（法吉・生馬・秋鹿・大野地区）

昨年度に引き続き、松北地域包括支援センターが担当する 6 地区（昨年度は鹿島、古江地区で開催）の公民館を回り、各公民館を会場に親の集いを開催し、エリア内の誰もが、どこの会場でも参加できるようにし、地区内の目を気にすることなく参加できるようにしました。

集いの開催に併せ、最初に「ひきこもりの理解」と題し講演会を開催し、ひきこもりの方へのかかわり方やコミュニケーションの取り方などを学び、講演会終了後、当事者と専門職による意見交換やアドバイスをもらう場としました。

開催日	会場	内容	参加者
5月14日	秋鹿公民館	第1部 講演：ひきこもりの理解 講師：松江市家庭相談課 公認心理士 第2部 家族の集い	当事者1名、民生児童委員1名、公民館2名、行政保健師2名、臨床心理士2名、包括2名
8月27日	法吉公民館	第1部 講演：ひきこもりの理解 講師：松江市家庭相談課 公認心理士 第2部 家族の集い	当事者4名、民生児童委員18名、行政保健師1名、臨床心理士1名、包括1名、社協地域福祉課1名
11月19日	大野公民館	第1部 講演：ひきこもりの理解 講師：松江市家庭相談課 公認心理士 第2部 家族の集い	民生児童委員4名、臨床心理士1名
3月14日	生馬公民館	第1部 講演：ひきこもりの理解 講師：松江市家庭相談課 公認心理士 第2部 家族の集い	当事者1名、民生児童委員6名、福祉推進員2名、包括1名

○松東地域包括支援センターエリア

【北山団地町内会 ふだんの暮らしの実態調査】(川津地区)

下東川津町にある北山団地は、持田公民館区の平成ニュータウン入り口付近に存在する 33 世帯（自治会加入世帯数 31 世帯）の団地であり、近年包括に寄せられる相談が増えてきていました。令和 3 年 1 月には孤立死が発生し、地域住民同士のつながりの希薄化が表面化していました。北山団地担当の民生児童委員は他にも 4 自治会（納佐、嵩見町、祖子部、笠無）を担当しており範囲が広くなかなか世帯把握ができていない現状があり、町内に福祉推進員も存在しておらず、町内会と CSW の接点もない状況でした。そのため、町内会長、民生児童委員、包括、CSW で協議を重ね、令和 3 年 8/18、8/19、8/20、8/24、8/26、9/4 の 6 日間、町内会加入世帯 31 世帯を対象に、民生児童委員、松東地域包括支援センター職員、CSW の 3 者が自宅に訪問し、「熱中症に関する情報提供」と「ふだんの暮らしの実態調査」を行いました。調査結果から、約 9 割の方が近所の方と定期的に顔を合わせる機会がないということが明らかになり、北山団地内の住民同士のつながりの希薄化が推測されました。高齢化により子どもを通じた交流がなくなったこと、団地内に集会所がないこと等が要因と考えられました。「団地内の住民との交流の場」が最も多い要望にもなっており、定期的に住民同士が顔を合わせる機会をもつことが求められており、令和 4 年度、住民同士の交流の場の立ち上げ予定です。

【島根町加賀 大津地区被災者支援 ～つながりの再構築～】(島根地区)

令和 3 年 4 月 1 日に島根町加賀大津地区で発生した大規模火災により、全焼・半焼世帯の 11 世帯が他地区の市営住宅や親戚宅等に移り孤立感を**感じてるという**声が多くあり、本来あった地域住民のつながりが分断されていました。そこで、物理的に離れ離れになってしまった被災者を含めた大津地区住民を対象に定期的にサロン(名称：つながりサロン)を開催しました。令和 3 年度は 6 回（7/25、9/12、10/24、11/28、1/23、3/27 いずれも 10:00～12:00）開催し、地域住民同士の情報交換の場、気分転換ができる場をつくり、つながりの再構築を行いました。「久しぶりに地域の方とお話しできて楽しい時を過ごさせて戴き有難う御座いました。」「この場所がないと皆に会えないので続けて欲しいです。」「いろいろ写真を見たりして楽しく話ができて良かったです。」等の声があり、住民にとってつながりを感じる大切な場所となっています。

【島根町 人工透析患者を対象とした通院に関するニーズ調査&移送支援】(島根地区)

松東地域包括支援センターへ寄せられる相談のなかで、島根町在住の人工透析患者からの通院に関する相談が増えてきていることをきっかけに、令和 2 年度に島根町在住の人工透析患者 9 名に通院に関するニーズ調査を実施。調査結果では、透析患者の 9 名全員が 65 歳以上の高齢者であり、全員が 5 年後、10 年後の通院に関する悩みを持っていることが明らかとなりました。その結果を毎月 1 回実施されている島根町福祉関係者連絡会（第 2 層協議体）にて情報共有を行い、令和 3 年 6 月より社会福祉法人 山陰家庭学院の車両を使用し、島根町在住の透析患者の

移送支援（福祉有償運送事業）が実施されることになりました。利用料金は年会費 2000 円、1 回 500 円となっており、現在 2 名の利用者に対して週 3 日（火・木・土）、森脇医院、日赤へ移送支援を行っています。島根地区社協が募った 7 名の地域住民が山陰家庭学院のパート職員となり運転を行っています。毎月 16 日に運転を担う地域住民、山陰家庭学院、地区社協、行政支所保健師、CSW で定例会を行い、来月のシフト決め、課題等を話し合い、円滑な運営が行われています。

#### ○湖南地域包括支援センターエリア

##### 【エリア内の高校との連携】

新型コロナウイルス感染の影響を受けている福祉施設入所者、利用者の皆様の心を少しでも明るくしたい、元気になってもらいたい、施設で働く職員の皆様へ応援のエールを届けたいと、松江商業高校吹奏楽部協働によるオンラインコンサートの開催や、松江商業高校 JRC 部、松江農林高校 JRC 部が取組んだ福祉施設に「手作り塗り絵」「オリジナルクイズ」を作成しに寄贈する活動を支援しました。

また、高齢者の「居場所づくり」「生きがいくくり」の場として、松江農林高校を拠点にした、草取り作業やお菓子作りなど、生徒と高齢者が交流を行いながら、生きがい・やりがいくくり、孤立防止、介護予防に取り組みました。

##### 【玉湯地区内福祉施設連携事業～ざっくばらん会議～】（玉湯地区）

災害時における福祉施設間の支援・応援体制の構築を図ることを目的に、玉湯地区内の福祉施設で働く職員同士の顔がわかる関係づくりを図るために、毎月「ざっくばらん会議」を開催し情報交換や研修会の企画などざっくばらんに話し合いました。年度内に 1 回、地区内の全事業所を対象とした「防災ミーティング」を開催しました。令和 3 年度は、松江市消防団玉湯方面団長と松江市防災安全部防災安全課を講師に招き、災害時の避難行動や、避難運営と感染予防対策、要配慮者支援事業について学習しました。

#### ○松南第 1 地域包括支援センターエリア

##### 【買い物支援ツアーの実施】（古志原地区）

古志原地区では生活課題の解消を目的とした社会資源づくりとして、住民が主体となった買い物支援ツアーを実施しました。この取り組みは対象エリアの自治会が主体となり地元社会福祉施設の協力を得ながら、住民の皆さんの生活課題を解消する社会資源として、また、地元社会福祉施設の地域貢献の活躍の場として実施されました。利用については、公営住宅にお住まいで買物に課題を抱えている方を対象として、7 月から月 1 回の開催頻度で近隣のスーパー等の小売店舗へ買い物に出かけました。天候や新型コロナの影響により実施計画の変更はありましたが、5 回の実施で延べ 52 名の方のご利用があり、利用者の皆さんからは好評を得ました。

○松南第2地域包括支援センターエリア

【青葉台で通所Bとメンズエクササイズクラブの立ち上げ】（竹矢地区）

青葉台にて活動しておられる住民団体「青葉台すこやかライフを推進する会」と連携して、地区内を対象とした介護保険総合事業通所B事業など、新たに創設する事業の支援（松江市総合事業通所B助成申請、山陰中央新報愛のともしび助成申請、赤い羽根共同募金助成申請）を行いました。併せて、そこへ参加する住民が女性に偏りすぎているという課題意識から、新たに男性だけを対象としたメンズエクササイズクラブも立ち上がりました。次年度以降も元気よく継続していく予定です。

【よらこい喫茶の助成金申請と活動再開支援】（竹矢地区）

約20年間毎月15日に活動してこられた公民館喫茶：よらこい喫茶もコロナ禍の影響を受けて、感染拡大防止の観点から発足後初めて休会が続くこととなりました。そうした背景を受け、感染予防対策設備を充実させ貴重な会の再始動を図ることを目的に太陽生命財団助成申請を支援し、7月より再始動をすることができました。しかしながら、感染の再拡大と参加者が高齢者を中心としていることを鑑み、令和4年1月からは再休止となっています。コロナ禍で人と人とのつながりが寸断されつつある昨今、得難い貴重な「場」であるよらこい喫茶を再々始動できるよう、次年度も支援していきたいと思えます。

【アルコール問題研修会の開催】（八雲地区）

地域支援を行う者の関係者が話し合う機会の中で「どうやら、八雲の個別支援を行う中ではアルコール問題に関わるケースが多い印象がある」との共有がなされ、断酒会との意見交換を行いました。その中で断酒会からも「地域への啓発を担いたい」との意向が確認でき、八雲地区社会福祉協議会と八雲地区人権擁護委員会に協力を仰ぎ、地区内住民対象のアルコール問題研修会を開催することができました。この会をきっかけに参加された方の中からも、実際に相談支援につながった方も出てきたことから、一定の効果があったと考えています。

【中学校との協働 (a)布おもちゃの作成と寄贈】（東出雲地区）

コロナ禍の影響を受け、従来継続してきたボランティア部の活動にも変化が生じました。直接施設等を訪問してボランティア活動をするのではなく、学校でもできるボランティア活動を模索し、日赤乳児院の募集していた布おもちゃの作成に取り組むこととし、寄贈を行いました。材料を東出雲地区社会福祉協議会が調達し、作成にあたっては地元のボランティアが指導を行い、計10個の布おもちゃを乳児院に寄贈して、大変喜んでいただきました。

【中学校との協働 (b)見守り配食弁当に合わせたお手紙づくり】(東出雲地区)

東出雲地区社会福祉協議会の行ってきた見守り配食弁当ののし紙に、中学校ボランティア部の生徒による自筆お手紙を貼り付けて配食しました。約 720 枚の自筆お手紙やイラストを町内の対象者世帯に配布し、対象者からは大変喜ばれました。この活動は次年度以降も継続していく予定です。

②地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

ア) 地区研修会 (地区社協と協力して実施)

○「見守りについて」「なごやか寄り合い事業立ち上げについて」等、6 地区で研修会を開催しました。

イ) 全体研修会

○講演「つながりある地域づくりを～社会的孤立について考える～」を 11 月 4 日に開催し、108 名の参加者がありました。

ウ) 地区活動の支援

○各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について一緒に考え実践しました。(なごやか報告で記載あり)

エ) 民生児童委員協議会への参加

○毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

③地区社会福祉協議会活動支援事業 (すこやかライフ推進事業)

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、各地区社協が実施する地域福祉事業の経費を一部助成することで、地区社協活動を支援し地域福祉の推進に寄与しました。

ア) 必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ) 重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

事業名等	内容	地区数	金額
必須事業	1 地区社協 100,000 円	29 地区	2,900,000 円
重点・選択事業	1 地区社協 300,000 円	29 地区	8,108,000 円
合計			11,008,000 円

◆重点・選択事業の内容一覧

地区名		重点事業	選択事業
松東エリア	川津	①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 川津地区推進隊) ②社会的孤立の予防・居場所づくり の推進	①福祉の集い&チャリティー古本市 ②広報活動 ③子育て支援事業
	朝酌	①健康まつえ 21 推進隊活動 ②介護予防の健康づくり活動	①子育て支援事業 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉 活動
	本庄	①健康まつえ 21 推進事業 ②社会的孤立の予防 ③居場所づくり事業	①あったかスクラム事業
	持田	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①配食サービス ②やすらぎ喫茶事業
	島根	①健康まつえ 21 推進事業	①透析患者通院移送支援サービス ②まごの手倶楽部
	美保関	①健康づくり活動の推進 ②社会的孤立の予防・居場所づくり の推進	①子育て支援活動 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉 活動
	八束	①健康まつえ 21 推進事業 ②高齢者ふれあい事業「まめだ会」	①ふれあい訪問 ②子育て支援事業 ③地域交流サロン
中央エリア	城北	①健康づくり活動の推進	①障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ②ミニデイサービス<お楽しみサロン> の開催 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉 活動
	城西	①健康づくり活動の推進 ②社会的孤立の予防・居場所づくり の推進	①ふれあい会食サービス・ミニデイの開催 (なごやか寄り合い) ②子育て支援活動
	城東	①健康づくり事業 ②社会的孤立の予防・居場所づくり の推進	①防災に関する事業 ②子育て支援 ③地域福祉計画推進事業

地区名		重点事業	選択事業
	白湯	①健康づくりの推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進事業	①友愛訪問事業 ②障がい児（者）の社会参加をすすめる活動 ③なごやか寄り合い事業 ④福祉だよりによる広報啓発活動事業
	朝日	①健康づくりの推進（健康まつえ 21 計画の推進） ②地域で支え合い閉じこもり予防・介護予防の推進を図る	①地域ふれあい事業 ②地区関係者合同研修 ③情報誌の発行
	雑賀	①健康づくり事業 ②地域の支え合いづくり事業 ③ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会)	①公民館喫茶憩い館
松北エリア	古江	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①古江給食サービス
	秋鹿	①なごやか寄り合い	①高齢者すこやかふれあい大会 ②そよかせ交流会・弁当配食 ③やんちゃ教室 ④買い物支援 ⑤地区地域福祉活動
	大野	①健康づくり活動の推進（健康講座） ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業) ②配食サービス（にじ色弁当） ③お年寄りとの交流事業（愛のプレゼント交流） ④ きらきら学級（乳幼児学級） ⑤社協だよりの発行
	法吉	①健康づくり・認知症対策	①各自治会福祉対策支援事業
	生馬	①元気で長生き道場	①高齢者世帯及び身障者の福祉調査 ②配食サービス ③町内ミニデイサービス ④年末見舞い（友愛訪問） ⑤情報誌の発行 ⑥高齢者いきいき事業 ⑦子育て支援

地区名		重点事業	選択事業
	鹿島	①鹿島地区健康づくり事業 ②鹿島地区男性介護者交流会 (かしまほっとクラブ) ③なごやか世話人活動支援事業	①鹿島地区子育て支援事業 ②広報誌の発行
松南1エリア	津田	①こころとからだの健康づくりの推進	①ボランティア喫茶 ②友愛訪問 ③社協だより
	大庭	①高齢者ふれあい運動会(レク式体力測定) ②高齢者福祉講座・研修会・健康講座 ③閉じこもり予防活動 友愛訪問	①巡回相談室(巡回お悩み相談室)の開催 ②あそび広場 ②ふれあい会 ④「おおば福祉だより」の発行
	古志原	①安全安心見守り事業 ②介護予防・健康推進事業	①福祉ネットワーク事業 ②広報事業
松南2エリア	竹矢	①健康づくり ②介護・生活習慣病予防講座	①子育て支援事業 ②ボランティア養成事業
	八雲	①健康づくり活動の推進 (八雲地区健康まつえ21推進隊事業)	①給食サービス
	東出雲	①健康まつえ21推進事業 ②なごやか寄り合い研修会事業 ③子育て支援事業(乳幼児期)	①高齢者安否確認事業
湖南エリア	乃木	①男の料理教室 ②乃木さんあい健康教室	①地域福祉事業 ②ふれあい弁当サービス
	忌部	①情報交換会の開催 (健康に関する事業の企画立案会) ②健康忌部21推進隊保健協力員・福祉推進員研修会 ③地域住民の交流の場づくり(こうみんかん喫茶の継続的開催) ④健康フェスティバル in いんべの開催	①すこやか交流会(ミニデイサービス) ②年越しそば配食サービス ③メディアコントロール研修会の開催
	玉湯	①健康づくり活動の推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①配食・会食サービスの実施 ②子育て支援事業
	宍道	①「ちょっこし動いて楽しま会」事業	①いきいき元気クラブ (転倒予防・認知症予防・介護教室)

#### ④地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として地区社協会長会（3回開催）・幹事会（3回）の開催に協力しました。

#### ◆研修事業

事業名等	内容
未来の豊かなつながりアクション拡大版 オンラインサロン	<p>●日時 令和3年6月30日（水） 14:00～15:00            会場 松江市総合福祉センター 4階 大ホール他            参加者 28名            内容 【講演会】            「コロナ禍の1年の振り返り コロナ禍のつながりを絶やさない取り組み」            講師 「広がれボランティアの輪」連絡会議会長            同志社大学名誉教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>【報告】            「島根町加賀地区大規模火災からの状況報告」            報告者 松東地区担当 CSW 今村 佳徳</p>
新任会長学習会	<p>●日時 令和3年10月7日（木）、14日（木） 18:30～20:00            会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室            参加者 新任会長3名            内容 ・地区社会福祉協議会の目的について            ・会長の任務について            ・松江市社会福祉協議会について            ・第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画について            ・第5次地区地域福祉活動計画について            ・すこやかライフ推進事業について            ・地域援助費について            ・健康まつえ21推進隊について            ・意見交換 他            講師 会長会会長（朝日地区会長） 菖蒲 周一 氏            会長会副会長（乃木地区会長） 坂本 俊雄 氏            会長会幹事（八雲地区会長） 須山 佐智美 氏</p>
第14回全国校区・小地域福祉活動サミット in 北海道	<p>●日時 令和3年10月22日（金）、23日（土） 13:30～16:30            会場 松江市総合福祉センター 各会場            参加者 10月22日 31名（第1分科会、第2分科会）            10月23日 16名（第3分科会、第4分科会）</p>

事業名等	内容
全国校区・小地域 福祉活動サミット in 北海道（続き）	内容 第1分科会 コロナ禍でのサロン活動の苦難と工夫 第2分科会 子ども食堂から小地域福祉活動への展開と実際 第3分科会 小地域福祉活動を福祉×教育から実現する！ 第4分科会 地域住民が主体となる小地域福祉活動や生活支援の仕 掛け！工夫！
第13回 松江市 公・自・社三団体 合同研修会	●日時 令和4年3月7日（月）14:00～15:00 場所 ホテル白鳥 3階 鳳凰の間 参加者 24名 内容 【講演会】 「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」 講師 松江市長 上定 昭仁 氏

#### ⑤福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会（2回開催）を開催しました。3月に3回目の幹事会・代表者会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催中止としました。

#### ◆代表者会・研修会

事業名等	内容
幹事会 代表者会 第1回	●日時 令和3年6月23日（水）幹事会 13:30～14:15 代表者会 14:30～15:15 会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 出席者 幹事会7名 代表者会24名 内容 ・福祉推進員代表者変更および役員体制について ・令和2年度事業報告について ・令和3年度事業計画（案）について
幹事会 代表者会 第2回	●日時 令和3年12月8日（水）幹事会 13:15～14:10 代表者会 14:30～15:10 場所 松江市総合福祉センター 4階 教養室 参加者 幹事会5名 代表者会21名 内容 ・松江市権利擁護推進センターについて（生活支援課） ・福祉推進員全体（初任者）研修会について ・福祉推進員ブロック研修会について

## ⑥福祉推進員研修会

ア) 福祉推進員（初任者）全体研修会の開催

新任の福祉推進員及び再任の福祉推進員を対象に、活動事例発表や講演会を通して実際の福祉推進員の役割や人と人のつながりづくりの重要性について学び、今後の実践活動に活かしていただくことを目的に開催しています。今年度は、城西地区における福祉推進員活動の実践報告と人と人のつながりをテーマとした講演会を実施しました。当初 8 月開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、11 月に延期しました。密を避け、より多くの方に参加いただくため、午後と夜間の 1 日 2 回開催としました。

### ◆福祉推進員福祉推進員全体（初任者）研修会

事業名等	内容
福祉推進員全体 （初任者）研修会	<p>●日時 令和 3 年 11 月 4 日（木） 午後：13:30～15:00 夜間：18:30～20:00</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール</p> <p>参加者 午後 82 名 夜間 26 名 計 108 名</p> <p>内容 【実践報告】 「城西地区の福祉推進員活動状況」 報告者 城西地区福祉推進員会 会長 野津 孝之 氏</p> <p>【講演会】 「つながりある地域づくりを～社会的孤立について考える～」 講師 松江市社会福祉協議会 常務理事 諏訪 方宣</p>

イ) 福祉推進員ブロック研修会の開催

社会的孤立について理解を深めることに加え、コロナ禍において実際に松江市社協で支援した事例を通して「自分たちには何ができるのか」を考え、日々の活動の一助になることを目的として 1 月 24 日（月）～31 日（月）の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止しました。

## ⑦あったかスクラム事業の支援

【生活支援課】

特別な支援が必要な子どもたちの余暇活動・親の会の活動支援、また、地域交流や支援体制の仕組みづくりを推進しました。

ア) 障がいのある子どもとその保護者への支援

- あったかスクラム事業の支援を行い、継続して活動が出来るように支援
- 事業計画会議や親の会、子どもたちの活動に参加し情報を提供
- あったかスクラム事業の PR（パンフレット配布、市社協だよりにて活動紹介）
- 地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

イ) ふれジョブの支援

- 地区のふれジョブ定例会等に参加、企業・学校への協力依頼
- ふれジョブのコーディネート

○地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

\*ぶれジョブとは・・・

地域の人がボランティアでジョブサポーターとなり、学校から地域の企業に毎週1回、障がいのある子とともに、1時間程度就労体験し、障がいのある子もそうでない子も一緒に生きていくことができる地域社会を共に創るための活動です。

ウ) 2021 健康福祉フェスティバルのブース出展

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フェスティバル中止がとなり、出展できませんでした。

エ) 情報交換会

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

## ⑧生活再建おうちクリーニング事業

【地域福祉課】

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身の整理整頓、衛生的な生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を実施し、自立に向けた支援を行いました。

年度	利用者数
R3 年度	1 件
R2 年度	2 件
R1 年度	1 件

## 2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

### ①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談・問合せ件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R3 年度	933 件	2,862 件	1,607 件	303 件	5,705 件
R2 年度	1,530 件	3,581 件	2,752 件	59 件	7,922 件
R1 年度	1,400 件	2,442 件	2,027 件	11 件	5,880 件

◆契約締結人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R3 年度	167 名(1)	148 名(1)	103 名(2)	9 名(0)	428 名(4)
R2 年度	166 名(3)	148 名(8)	101 名(3)	9 名(4)	424 名(18)
R1 年度	163 名(6)	140 名(6)	98 名(6)	5 名(0)	406 名(18)

( ) 内は年度内契約件数

◆現在の実利用人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R3 年度	13 名	78 名	29 名	4 名	124 名
R2 年度	16 名	81 名	31 名	5 名	133 名
R1 年度	20 名	79 名	31 名	5 名	132 名

「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R3 年度	59 名	36 名
R2 年度	60 名	36 名
R1 年度	63 名	40 名

◆生活支援員研修会

内 容	期日	人数
日常生活自立支援事業生活支援員研修会（県社協主催）	9 月 27 日	13 名

②法人成年後見事業

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。法人後見事業は、社会福祉法人松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、ご本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人成年後見事業の推移 死亡ケース含まず（年度末時点）

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R3 年度	14 件 (後見 11・保佐 2・ 補助 1)	7 件 (後見 3・保佐 4)	3 件 (後見 3)	24 件
R2 年度	8 件 (後見 8)	4 件 (保佐 1・後見 3)	3 件 (後見 3)	15 件

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R1 年度	6 件 (後見 6)	3 件 (保佐 1・後見 2)	4 件 (後見 4)	13 件

◆法人後見支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R3 年度	9 人	8 人
R2 年度	3 人	3 人
R1 年度	2 人	1 人

### 3. ボランティア活動及び福祉教育

#### 3-(1) コーディネート機能強化

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

登録ボランティア分類	R3 年度	R2 年度	R1 年度
個人ボランティア	122 名(7)	139 名(9)	131 名(28)
団体ボランティア	90 団体(5)	99 団体(5)	97 団体(3)

( ) は新規登録者(団体)数

◆ボランティアの斡旋実績

利用状況	R3 年度	R2 年度	R1 年度
派遣依頼数(zoom 配信依頼数)	54 件(1)	35 件	240 件
派遣団体数	26 団体	11 団体	137 団体
個人ボランティア延派遣者数	23 人	27 人	81 人
コーディネート数(マッチング回数)	50 件(58)	35 件	215 件
キャンセル・該当者なし	5 件	5 件	27 件

◆相談機関・団体等との連携推進

個別支援の対応として、「個人登録者」「ゆうあいヘルプ」「松江市暮らし相談支援センター」「まつえ障がい者サポートステーション絆」「地域包括支援センター」を含む市社協や市等関係機関と連携しボランティアのコーディネートを行いました。

また、松江赤十字病院、松江刑務所等の団体と連携して、シトラスリボンプロジェクトの活動等に協働して取り組みました。

### 3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティア活動の基本的知識、取り組む姿勢の育成・養成を行いました。

#### ①育成研修

①-1 サマーチャレンジボランティアについては**コロナウイルス**感染防止のため、受け入れを依頼する施設側の状況や休校後の学校の状況を鑑み開催が難しいと判断し、中止しました。

#### ①-2 あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

##### ア) あいサポート運動の啓発

「ボランティアセンターだよりつなぐ 15号」の紙面にて紹介しました。

##### イ) あいサポーター研修の受付・推進

企業、団体等に対してメッセージャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・27 団体 36 回 受講人数・・・1,405 人

#### ◆あいサポーター研修実施団体詳細

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	1	地域住民	3
中学校	3	行政関係	1
各種学校	8	その他	3
企業	8	合計	27

ウ) あいサポートメッセージャーの登録・活動継続の意思確認

#### ◆メッセージャー登録者数

R3 年度	R2 年度	R1 年度
154 名	155 名	163 名

#### ②養成研修

②-1 ボランティア入門講座の開催（くらし安心サポートセミナーを兼ねて開催）

開催日：令和 3 年 10 月 6 日(水)

会場：松江市総合福祉センター4 階 教養室

参加者数：9 名（修了者：8 名）

②-2 介護の入門的研修

開催日：令和 3 年 10 月 26 日(火)～29 日(金)

会場：松江市総合福祉センター4 階 教養室

参加者数：11 名（修了者：7 名）

### 3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放、備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

利用状況	R3年度	R2年度	R1年度
実利用日数	151日	116日	188日
延べ利用団体数	177団体	134団体	227団体
延べ利用人数	673名	477名	1,228名

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

貸出機材	R3年度	R2年度	R1年度
印刷機	71件	54件	125件
コピー機	50件	12件	106件
車椅子	73件	52件	105件
アイマスク	3件	4件	1件
その他(高齢者疑似体験セット・スクリーン等)	48件	32件	34件

◆ボランティア保険の加入促進

ボランティア保険種類	R3年度	R2年度	R1年度
ボランティア活動保険	6,450名	6,087名	8,459名
ボランティア行事用保険	1,308件	348件	619件
福祉サービス総合補償	8件	16件	17件
送迎サービス補償	4件	4件	4件
災害保険	397名	415名	201名

※事故取扱件数 6 件

②ボラカフェの開催

ボランティアをしたいけど、何をしたいかわからない。一步を踏み出したいという人のきっかけづくりとして、古切手整理の軽作業を実施しました。

○開催日：毎月第4木曜日 14:00～15:30

○参加実数：延べ 171 名

③おうち de ボランティアの実施

ア)古切手整理・ウエス切り

コロナ禍において人との関りや外出を控えている方を対象に家庭でできる活動として実施しました。今年度からはウエス切りも実施しました。

○参加者：古切手整理 8名 ウエス切り 1名

イ)趣味・特技編

活動の機会や出演の機会が少なくなっている個人・グループ・団体とそれらの受け入れが出来ず楽しみの方が少なくなっている施設・なごやか会等をつなぐ試みとして登録者募集の呼びかけを行いました。賛同を受けた個人・グループ・団体から発表内容を収録した DVD の

貸出しや、zoom などを利用したライブ配信について、チラシの配布やホームページへの掲載によって案内、周知を行いました。

○参加呼びかけに対する登録：3 グループ・4 個人

#### ④松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

ア) 松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

分類	R3 年度	R2 年度	R1 年度
健康・福祉・まちづくり	29 団体	32 団体	32 団体
子ども・青少年・人権	20 団体	22 団体	21 団体
文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報	24 団体	32 団体	35 団体
計	73 団体	86 団体	88 団体

イ) 主な活動

機関紙の発行：第 41 号

松江城・街美化ウォークの開催：令和 3 年 6 月 5 日(土) コロナ感染拡大により中止

おもちゃの寄贈 松江市社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会加盟団体、市民活動センター団体へ寄贈

ボランティア後援会 令和 4 年 3 月 13 日(日) 浜田真理子トーク&ライブ

参加者：63 名

各種会議の開催：役員会 8 回、運営委員会・総会 書面審議

松江城・街美化ウォーク 打合せ会 2 回

#### ⑤企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

ア) 加入者数：企業会員 63 企業、個人会員 64 名

イ) 企業ボランティア松江ネットワーク会議総会・研修会の書面決議での開催

ウ) 美化活動、水燈路の行燈の審査・表彰授与

オ) 機関紙の発行 NO.38 R4.2 月発行

#### ⑥松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援

ア) 幹事会の開催

第 1 回幹事会 令和 3 年 7 月 15 日(木)

第 2 回幹事会 令和 3 年 12 月 23 日(木)

イ) 総会の開催 書面決議にて開催

ウ) 松江市社会福祉法人連絡会活用サポートガイドの配布・活用

・講師派遣事業：16 法人 21 施設

・物品機材等貸出し事業：24 法人 33 施設

・実績：物品・機材等貸出し事業 1 件

エ) 情報発信

- ・機関紙『ワンラブ通信』の発行(令和3年6月、11月、令和4年3月)
  - ・市社協ホームページでの情報提供
- オ) ふくしなんでも相談窓口設置に向けての取り組み
- ・研修会の開催 令和4年1月27日(木) オンライン形式 参加法人 8法人
  - ・令和4年4月開設予定 9法人 20事業所

### ⑦松江市建築組合青年部ボランティア活動の支援

地域で生活する一人暮らし高齢者・障がい者世帯の在宅での生活を支援するとともに、活動を通じて地域の方々に大工仕事の重要さを知っていただき、様々な人との交流を深めることを目的として実施されました。

松江市社会福祉協議会内の相談機関を通して対象者の把握を行い、6件の申し込みを受け付け下見を行い、うち5件について活動が実施されました。

- ・下見 令和3年8月26日(木) 1件は下見の際に作業完了
- ・活動日 令和3年9月26日(日) 組合より13名参加、4班に分かれて活動

### 3-(4) 福祉教育の推進

福祉教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

ア) 福祉学習推進の支援(講師派遣数)

区分	R3年度	R2年度	R1年度
学校関係	14回	8回	15回

イ) 介護の基礎的講座普及モデル事業の推進

中学校学習指導要領「技術・家庭科編」の改定において、高齢者など地域の人々と協働する必要や介護など高齢者との関わりを実践的に学ぶことが規定されたことに伴い、中学校において「福祉の心」を育む教育を推進する視点を抑えつつ、介護の基礎的な学習を実施していくことが求められています。こうした動向を踏まえて、介護現場で高齢者を第一線で支えるプロフェッショナルを「介護の仕事コンシェルジュ」として中学校に派遣することなどを柱として実施しました。

#### ◆コア会議

開催日：令和3年6月8日(火)  
 会場：松江市総合福祉センター4F 教養室  
 参加者：コンシェルジュコアメンバー 9名

#### ◆コンシェルジュ全体会

開催日：令和3年8月3日(火)  
 会場：松江市総合福祉センター4階 教養室  
 参加者：コンシェルジュ 22名

#### ◆介護の仕事コンシェルジュ登録者数

9法人、12施設、38名

◆実施状況

区 分	R3 年度	R2 年度	R1 年度
実施校数	5 校	4 校	3 校
人数	554 名	508 名	452 名
実施回数	9 回	11 回	11 回

ウ)「ふくしの学び合い」推進

市町村社協が学校・公民館・社会福祉施設・企業・団体などと連携して行う「福祉学習プログラム」を活用した研修事業等を目的とした島根県社会福祉協議会の補助事業を受け、社会福祉法人等との連携と協力を得てコロナ禍においても実施できるプログラムや教材の検討を行いました。加えて、今年度からは任意事業として開始された、地域におけるプラットホームづくりに対する助成を受け事業を実施しました。

◆もんじゅの知恵～「福祉教育」実践プログラム集～の作成

「ふくし教育」を進めていくためのポイントや SDGs の視点を取り入れた実践プログラム集や申込書等を掲載したもんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～を作成し、令和 4 年 1 月小・中校長会にて内容説明、配布をしました。

○開催日：令和 4 年 1 月 12 日（水）

○対 象：市内小・中学校（義務教育学校含む）49 校

また、社協だよりや松江市ボランティアセンターだより「つなぐ」にて紹介し、ホームページにも掲載しました。

◆実践研修会の実施

掲載したプログラムを体験し、今後の実践に繋げるために市社協職員と県社協職員を対象とした研修会を実施しました。

○第 1 回 開催日：令和 3 年 10 月 4 日（月）

内 容：JICA 国際協力出前講座（貿易ゲームの実施）

参加者：12 名

○第 2 回 開催日：令和 3 年 10 月 12 日（火）

内 容：避難所運営ゲーム HUG の実施

参加者：19 名

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

ホームページの充実や情報誌の発行及びボランティアの相談受入の充実につとめました。

◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」年 3 回(7 月・12 月・3 月)発行しました。

◆ホームページやフェイスブックを通じ情報提供に努めました。

◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ、ベルマーク等受付）

区 分	R3 年度	R2 年度	R1 年度
受付件数	157 件	70 件	70 件

◆松江市ボランティアフェスティバルは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

◆コロナ禍におけるボランティア活動に関するアンケート調査の実施

- ・調査の目的：コロナ禍におけるボランティア活動の状況把握と今後の発展に向けた支援検討のため
- ・調査対象：松江市ボランティアセンター登録のボランティア団体 75 団体
- ・調査方法：郵送による配布・回収
- ・調査期間：令和 4 年 2 月 28 日～3 月 16 日
- ・回収率：75 団体中 53 団体（回収率 70.7%）
- ・実施主体：島根県社会福祉協議会地域福祉部、  
松江市社会福祉協議会松江市ボランティアセンター

### 3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施

市の委託事業として、65 歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

区 分	R3 年度	R2 年度	R1 年度
個人登録者数	97 名	98 名	93 名
団体(なごやか寄り合い)登録数	208 団体	222 団体	220 団体
受入施設登録数	46 施設	46 施設	46 施設

## 4. 在宅生活支援事業の推進

### 4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

#### ①地域包括支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

令和 3 年度から、地域包括支援センターに障がいのある方や子ども、生活困窮者などの地域の重層的な総合相談窓口を付加し、ワンストップ窓口としての機能の充実が図られ、松江市の条例通りに相談員数が 32 名から 36 名に増員されました。

処遇困難なケースの中には身寄りがないために施設入所や入院手続きなどに担当のケアマネジャーや包括相談員が対応に苦慮していることから、市内の病院、施設、大学教授、弁護士、開業医、ケアマネ協会、行政等に委員に入っただき、松江市身寄りのない方へのガイドライン策定委員会を zoom で 2 回開催し、「支援者のための松江市身寄りのない方への支援ガイドライン」を作成しました。一人の支援者に負担が集中してバーンアウトしないように身寄りがない方の関係者（友人・医療・介護・施設など）がチームをつくり役割分担をして対応することや、当事者が元気なうちからどう生きたいか誰に何を支援してほしいか考え意思を伝えることができる環境づくりを目指しています。

また、4 月に住宅火災、夏に水害や土砂災害が発生し、ケアマネジャーから災害時一人で避難

が困難な高齢者の相談がありました。地域の民生児童委員、福祉推進員、自主防災組織、自治会等と避難方法について検討や、当事者と一緒に避難訓練などをしました。「松江市の災害時の対応について」市の防災安全課・福祉総務課のご協力のもと動画を作成し、YouTube による周知を図りました。

## ■重点事業

### ア) 総合相談業務

- ふくしなんでも相談所のチラシを民生児童委員、福祉推進員、医療機関、商店などに配布しました。
- 相談実件数は前年度より約 60 件減りましたが、相談延べ件数は前年度に比べ約 1,000 件増加しました。多問題を抱える世帯が増え相談対応回数が増加していることが影響しています。
- 支援や関わりを拒否され、すぐには必要な支援につながらないが、関わり続けるための対応を検討したケースが 227 件ありました。

### イ) 権利擁護業務

- 虐待通報件数が 67 件あり、その内新規ケースが 43 件ありました。「松江市高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて、すみやかに市と協議し、介護支援専門員・主治医・サービス事業所等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。
- 虐待困難事例検討として包括での対応が困難な 5 件のケースを、精神科医師や弁護士などの専門職に助言をいただくことができました。
- ブロック連絡会を会場と zoom で開催し、虐待防止の周知を図りました。

### ウ) 介護予防ケアマネジメント業務

- 「松江市住民主体の通所サービス活動紹介」を作成し活動の様子の写真や利用者の感想などを掲載しました。診察してケアマネジャーに配布や、社協ホームページの高齢者お役立ち情報の地域の活動(運動・体操)にアップして周知をしました。
- 地域の集まりへの参加や高齢者の実態把握訪問をした際に、581 名にフレイル予防の話や地域の通いの場への参加継続の必要性などの啓発を行いました。
- 松江市保健師が実施したフレイルチェックで該当している 47 名に、包括保健師が訪問し、からだ元気塾、歯つらつ健口教室、なごやか寄り合い等の参加を声掛けしました。

### エ) 包括的・継続的ケアマネジメント

- 「松江市の災害対応について」動画を作成し、YouTube 配信による研修会を開催しました。再生回数 265 回(令和 4 年 3 月末現在)でした。
- 令和 3 年度から市の委託事業として GPS 端末機を貸出し、令和 3 年度は新たに 16 名が利用されました。
- 新たに年度末から松江市見守りシール配布事業の委託を受け、SOS 見守りネットワークに登録している 257 人の高齢者に周知し、希望者 42 人に配布しました。
- イオンやみしまや、A コープなどの商店 47 店舗に、高齢者の見守り協力依頼をしました。

従業員の皆さんに認知症の理解や対応についての動画視聴やSOS見守りネットワーク協力者登録、高齢者見守り協力店スイングポップや包括周知チラシの配布をしました。

○SOS見守りネットワークのメール受信登録者数が1,306名になり、昨年度より100名増加しました。

オ) 地域ケア会議の開催

○コロナ禍で検討事例を6事例から4事例に変更し開催時間を短縮し、飛沫防止の衝立を用いる等感染防止対策を講じ、2月に新型コロナウイルスまん延防止等重点措置対象地域となり1回中止しましたが、その後はzoomを活用し計画通り開催できました。

○松江市個別地域ケア会議の助言者向けの研修会開催を2回zoomで行い、自立支援に向けた効果的な助言や専門職の役割についてたくさんの専門職に受講していただきました。

◆相談件数

区 分	相談件数		相談実利用者		介護予防ケアマネジメント及び 予防給付管理 プラン数(3月末)		ケアマネジャー 支援	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
中央地域包括	3,068	2,849	516	550	624	563	13	38
松北地域包括	2,792	2,826	518	457	506	452	38	62
松東地域包括	3,117	3,091	514	527	549	531	69	71
湖南地域包括	3,129	3,115	453	512	500	452	87	105
松南第1地域包括	3,430	2,825	567	534	594	555	142	83
松南第2地域包括	2,065	2,000	394	447	375	334	46	52
計	17,601	16,706	2,962	3,027	3,148	2,887	395	411

◆虐待困難事例検討会

事業名等	内 容
虐待困難事例検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 随時精神科医師、弁護士、精神保健福祉士に助言をいただく</li> <li>内容 包括での対応が困難な事例について、それぞれの専門職からの助言をいただき、その後の支援に活かす。</li> </ul> 検討事例 4事例

◆公開講座

事業名等	内 容
公開講座 第1回	「松江市の災害対応について」動画を作成し、YouTube配信による研修会を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●視聴可能期間 令和3年11月16日(火)～</li> </ul>

事業名等	内 容
公開講座 第1回（続き）	<p>内容 ①松江市の災害対策について ②要配慮者支援組織について</p> <p>講師 ①松江市防災安全部防災安全課防災安全係長 常盤 貴之 氏 ②松江市福祉部福祉総務課総務管理係副主任 野津 紳吾 氏</p> <p>YouTube 受講 再生回数 265 回</p>

◆ブロック連絡会

事業名等	内 容
ブロック連絡会 第1回	<p>●日時 令和3年9月14日（火）松南第2エリア ケアマネ 14名参加 令和3年9月15日（水）湖南エリア ケアマネ 10名参加 令和3年9月15日（水）中央エリア ケアマネ 9名参加 令和3年9月17日（金）松東エリア ケアマネ 11名参加 令和3年9月22日（水）松南第1エリア ケアマネ 18名参加 令和3年9月24日（金）松北エリア ケアマネ 15名参加</p> <p>内容 ケアマネとコミュニティーソーシャルワーカーとの情報交換会 「住民主体の通所サービス、短期集中サービスの紹介」 「高齢者お役立ち情報の活用について」 「コミュニティーソーシャルワーカーの活動紹介」</p>
第2回	<p>●日時 令和3年11月24日（水） 13:30～15:00</p> <p>内容 「行政説明 高齢者虐待の現状」市健康政策課 「松江市の高齢者虐待の傾向について」松江市地域包括支援センター 「高齢者虐待について～事例報告～」包括職員 参加者数 134人（内 zoom による参加 99名）</p>

◆松江市事例検討会

事業名等	内 容
松江市事例検討会	年間 参加者(ケアマネ) 延べ 89名 検討事例 12事例
第1回	●日時 令和3年7月16日（金） 13:30～14:40 参加者数 15人（湖南エリア2事例）
第2回	●日時 令和3年7月20日（火） 13:30～14:40 参加者数 15人（松東エリア2事例）
第3回	●日時 令和3年11月16日（火） 13:30～14:40 参加者数 10人（松南第2エリア2事例）
第4回	●日時 令和3年11月19日（金） 13:30～14:40 参加者数 14人（中央エリア2事例）

事業名等	内 容
第 5 回	●日時 令和 4 年 1 月 20 日(木) 13:30~14:40 参加者数 15 人 (松南第 1 エリア 2 事例)
第 6 回	●日時 令和 4 年 1 月 21 日(火) 13:30~14:40 参加者数 20 人 (松北エリア 2 事例)

◆地域ケア会議

事業名等	内 容
各包括での地域ケア会議	個別ケースの情報共有や対応等、地域課題について地域の関係者を含めて開催しました。 個別課題の検討 開催回数 57 回 参加者数 延 341 人 地域課題の検討 開催回数 10 回 参加者数 延 49 人
松江市個別地域ケア会議	多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力の向上を図りました。 会 場 松江市総合福祉センター 参加者 介護支援専門員(事例提出者) 助言者 薬剤師、訪問看護師、リハビリ専門職(PT OT ST いずれか 1 名)、歯科衛生士、管理栄養士、臨床心理士、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、社協 CSW 検討事例 44 事例 評価事例 48 事例
第 1 回	●日時 令和 3 年 5 月 20 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 検討事例 4 事例
第 2 回	●日時 令和 3 年 6 月 3 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 検討事例 4 事例
第 3 回	●日時 令和 3 年 6 月 17 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 検討事例 4 事例
第 4 回	●日時 令和 3 年 6 月 24 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 検討事例 4 事例
第 5 回	●日時 令和 3 年 7 月 15 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 検討事例 4 事例
第 6 回	●日時 令和 3 年 8 月 5 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 検討事例 4 事例
第 7 回	●日時 令和 3 年 11 月 11 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 検討事例 4 事例

事業名等	内 容
第 8 回	●日時 令和 3 年 11 月 18 日 (木) 13 : 30～15 : 30 検討事例 4 事例
第 9 回	●日時 令和 3 年 12 月 2 日 (木) 13 : 30～15 : 30 検討事例 4 事例
第 10 回	●日時 令和 3 年 12 月 16 日 (木) 13 : 30～15 : 30 検討事例 4 事例
第 11 回	●日時 令和 4 年 2 月 3 日 (木) 13 : 30～15 : 30 新型コロナウイルスまん延防止等重点措置対象地域となり中止
第 12 回	●日時 令和 4 年 2 月 17 日 (木) 13 : 30～15 : 30 (zoom により開催) 検討事例 4 事例
評価会議	
第 1 回	●日時 令和 3 年 10 月 14 日 (木) 評価会議 24 事例 (令和 2 年 11 月～令和 3 年 2 月までの事例)
第 2 回	●日時 令和 4 年 3 月 17 日 (木) (zoom により開催) 評価会議 24 事例 (令和 3 年 5 月～令和 3 年 8 月までの事例)
助言者向け研修会	
第 1 回	●日時 令和 3 年 10 月 28 日 (木) 内容 「地域ケア個別会議で具体的・実現可能・明日から使える助言について考える ～当事者の「したい」を支援することを目指して～」 講師 岡山県津山市役所 作業療法士 安本 勝博 氏 受講者 105 名 (会場と zoom によるハイブリッド研修)
第 2 回	●日時 令和 4 年 3 月 4 日 (金) 18 時 30 分～20 時 内容 ①「効果的な助言をするための 3 つのポイント」 講師 島根県理学療法士会 地域・行政支援グループリーダー 濱田 龍 氏 ②「模擬地域ケア会議(動画作成)を通し求められる助言について」 講師 松北地域包括支援センター班長 糸川 眞由美 受講者 97 名 (会場と zoom によるハイブリッド研修)

## ②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域

で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されています。

令和 2 年度から質の高い在宅医療提供体制の構築を目指し、島根県の「医療連携コーディネーター設置事業」を松江市医師会から受託し、在宅医療・介護連携支援センターに医療連携コーディネーターを配置しました。医師会との連携が強化され、医師会の医療連携担当医師と相談しながら事業を進めました。

◆地域の医療・介護資源の把握

○市内のすべての施設 147 か所、訪問看護ステーション 32 か所、訪問リハビリテーション 13 か所、ショートステイ 28 か所の特徴や、医療的ケア(インシュリン注射、喀痰吸引、経管栄養、在宅酸素療法、膀胱カテーテル等)や食事形態の対応状況等の調査を行いました。把握した情報を一覧に作成し、社協ホームページに掲載しました。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

○コロナ禍で、専門職が集まる会議の開催自体が困難な中、zoom を使用し、通常の会議やコロナ対策に関する情報共有ができるよう支援し、各専門職の課題、取り組み状況等を広報誌「RENKEI」を年 4 回発行し、お知らせしました。

○救急搬送時の課題に対応するため、市内の関係機関に松江市作成「救急医療情報」の更新の周知、松江市消防本部と連携し「救急車を呼ぶ時の Q&A」を作成し、「救急車利用チェックシート」とともに周知しました。

○当センターホームページ内に「まっえの ACP」ページを立ち上げ、「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及啓発協議会」の取り組み状況や啓発動画を掲載し、活動報告の場を作りました。医師会主催の ACP の研修会について、介護関係者に受講周知をしました。

○「災害時リスクアセスメントシート」「非常用持ち出し品チェックリスト」を松江地域介護支援専門員協会、地域包括支援センターと共同作成し、災害に備える取り組みについて検討しました。

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

○医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。

◆相談内容

内容	在宅療養支援	医師との連携	介護との連携	入院の退院支援	施設の入所支援	医療・介護資源	その他	合計
R3	21	11	3	13	2	37	60	147
R2	34	12	5	11	3	47	37	149

◆相談経路

相談者	ケアマネ	医師	病院	訪問看護	歯科	薬剤師	PT OT ST	事業所 サービス	行政	市民	包括	その他	合計
R3	21	2	20	7	0	0	1	2	9	2	36	25	125
R2	28	4	20	2	0	1	0	5	12	5	30	21	128

◆医療・介護関係者の研修

- 市内各団体が開催する研修についてホームページ上に「研修カレンダー」を作成し、月 2 回更新していましたが、コロナ禍のため、多くの研修が中止を余儀なくされました。このような中で、専門職団体からの相談を受け、zoom や YouTube を活用した研修会の開催支援、Google フォームを利用したアンケート実施などの支援を行いました。
- 包括支援センターとともに災害対策に関する課題を収集し、行政に講師を依頼し研修動画を作成しました(社協ホームページに掲載中)。また、松江地域介護支援専門員協会と共催で災害にどう対応していくかについて、実践報告やグループワークを zoom で行いました。
- 終括支援ノートの活用講座を地域で開催しました。(4 会場 参加者 65 名)

③生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

令和元年度より CSW（生活支援コーディネーター）を各包括支援センター（サテライトを除く）内に配置して、住民により身近な拠点で活動を行いました。

ア) 地域の生活課題の把握から新たな取組みの展開

P15～ 2 地域福祉及び連携調整の強化 2-(2)地域福祉の推進 ①コミュニティソーシャルワークの展開の活動内容をご覧ください

また地区社協事業を始め、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ) ネットワークづくり

地域の生活課題の検討や住民の主体的な取組みによる解決を図るため、平成 30 年度末に市内 29 地区を単位に「第 2 層協議体」を立ち上げました。第 5 次地区地域福祉活動計画策定の会議を第 2 層協議体に充てている地区が多く、令和 3 年度は第 5 次地区地域福祉活動計画の進捗管理会議に参加しました。

ウ) 住民主体の生活支援サービスの開発

介護保険制度の総合事業に位置付けられる通所型サービス B(住民主体型)の立ち上げについて地区に働きかけをしました。また、これまで地域住民が主体となり実施されている各地の居場所づくり活動においても後方支援しました。

エ) サービスの担い手確保

10 月 6 日に令和 3 年度くらし安心サポートセミナーを実施し、9 名が受講され内 8 名が地域の支え合い活動の担い手として登録されました。

訪問型サービス A（基準緩和型サービス）へ従事していただくことを目的に、第 1 回

目（10月26日・10月27日・10月28日）2回目（3月2日・3月3日・3月4日）に令和3年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。合計16名が受講をされ、内15名に対し松江市より修了証が授与されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

活動の項目	件数
住民型サービスへの支援	162件
協議体の立ち上げ・運営	48件
人材育成	164件
啓発	116件

④認知症地域支援推進事業

【総務課】【地域包括ケア推進課】

ア) 支援者づくり・まちづくり

○徘徊SOS見守りネットワークの強化

認知症見守りネットワークの協力者募集として **au**、ソフトバンクの販売店舗にチラシを置かせていただき登録を促しました。

市内の商店47店舗に、高齢者の見守り協力の依頼をし、従業員の皆さんに認知症の理解や対応についての動画視聴やSOS見守りネットワーク協力者登録チラシの配布をしました。

◆認知症見守りネットワーク

年度	登録者数(利用者)	登録者数(協力者)	協力事業所数	稼働回数
R3年度	257人	1,306人	258事業所	9回(1)
R2年度	214人	1,245人	256事業所	5回
R1年度	155人	1,146人	39事業所	9回

(1) は、内市外からの依頼協力

○男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦勞が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成21年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式で、毎月第3金曜日に開催しました。

◆男性介護者の集い参加状況

- ・日時 毎月第3金曜日 10:00~12:00
- ・場所 松江市総合福祉センター3階教養室

開催月	参加人数	ボランティア	相談対応
4月	2人		
5月	3人		

開催月	参加人数	ボランティア	相談対応
6月	3人	傾聴ボランティア 「まつえ一期の会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター</li> <li>・地域福祉係</li> </ul>
7月	2人		
8月	3人		
9月	2人		
10月	1人		
11月	5人		
12月	5人		
1月	3人		
2月	3人		
3月	3人		
計	<b>35人</b>		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時間を1時間短縮し10:00～11:00としました。

○家族介護者交流会

在宅で介護をしている家族介護者が介護者相互の交流会や研修・講座への参加を通して、気分転換し元気回復を図ることを目的に、以下の内容で実施しました。

事業名等	内容
第1期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年9月3日(水) 10:00～11:30</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4階 教養室</li> <li>参加者 6名</li> <li>内容 【講座】 「バランスよく食べてめざせ健康長寿」 講師 島根県栄養士会地域活動事業部管理栄養士 三浦 ひとみ 氏</li> <li>【交流会】 感染予防をしっかりと行なった上で、参加者同士のフリートークを行いました。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、定員10名としました。</li> </ul>
第2期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年3月16日(水) 13:30～15:00</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4階教養室</li> <li>参加者 4名</li> <li>内容 【講座】 「薬剤師さんにきいてみよう！お薬講座」 講師 松江市薬剤師会理事/松江生協病院薬剤部 足岡 秀樹 氏</li> <li>※講座の時間が超過したため、交流会は未実施。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、定員10名としました。</li> </ul>

#### 4-(2) 各種貸付相談

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金制度の受付相談と自主事業として、低所得世帯に対し生活に緊急的に必要な一定の資金を貸し付ける民生融金貸付事業を実施し、世帯の自立を図ることを目的として相談、貸付を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業などにより、緊急かつ一時的に生計に維持が困難になった世帯に少額の貸付を行う緊急小口資金、生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行う総合支援資金の特例貸付を行いました。

##### ◆相談件数

年度	相談件数
R3 年度	1,549 件
R2 年度	6,693 件
R1 年度	2,195 件

##### ◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	152	169	221	140	154	141	100	115	72	85	76	124	1,549

※コロナ特例相談件数減少理由

- ・コロナ特例貸付資金申請件数の減少によるもの
- ・令和2年度は、コロナ特例貸付（小口支援資金、総合支援資金）がはじまったことによるもの

#### ①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な運営に努めました。

- 福祉資金（生業、技能習得、住宅、福祉用具、障がい者自動車、療養、介護、災害援護その他福祉費、緊急小口）
- 教育支援資金
- 不動産担保型生活資金
- 総合支援資金
- コロナ特例（緊急小口資金、総合支援資金、総合支援資金延長、総合支援資金再貸付）

##### ◆生活福祉資金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R3 年度	935 件	322,922,000 円
R2 年度	3,113 件	888,225,600 円
R1 年度	62 件	56,754,000 円

◆生活福祉資金 資金内訳（935 件）（内コロナ特例 900 件）

- 技能習得経費（1 件） ■一時的必要経費（6 件） ■緊急小口（1 件） ■教育支援費（10 件）
- 就学支度費（14 件） ■総合支援資金（3 件） ■特例小口（364 件） ■特例総合（303 件）
- 特例総合再貸付（233 件）

◆コロナ特例貸付実績

○緊急小口資金

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	68	44	50	33	20	30	27	27	12	9	18	26	364

○総合支援資金

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	50	45	51	39	25	28	17	12	4	4	11	17	303

○総合支援資金再貸付

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	14	12	32	30	39	48	24	17	14	3	0	0	233

名称	貸付件数	貸付金額
緊急小口	364 件	67,640,000 円
総合支援	303 件	124,180,000 円
総合支援（再）	233 件	9,578,000 円

②民生融金の貸付

生活困窮者に対する緊急の小口融資生活資金として、民生児童委員の協力により 1 件 5 万円以内で貸付支援を行いました。

◆民生融金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R3 年度	14 件	158,000 円
R2 年度	7 件	64,000 円
R1 年度	28 件	290,000 円

4-(3) 福祉サービス

①福祉サービスの実施

【地域福祉課】

住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安

定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
利用会員	<b>115 人</b>	125 人	131 人
協力会員	<b>40 人</b>	44 人	46 人

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1 時間単位のサービス時間を設定）

項目	R3 年度	R2 年度	R1 年度
利用回数（家事）	<b>1,526 回</b>	1,952 回	1,994 回
利用時間（家事）	<b>1,952 時間</b>	2,883 時間	2,994 時間
利用回数（介護）	<b>673 回</b>	455 回	521 回
利用時間（介護）	<b>1,162 時間</b>	913 時間	1,055 時間
利用回数（訪問 B）	<b>353 回</b>	318 回	255 回
利用時間（訪問 B）	<b>315 時間</b>	296 時間	248 時間
利用回数(計)	<b>2,552 回</b>	2,725 回	2,770 回
利用時間(計)	<b>3,429 時間</b>	4,092 時間	4,297 時間

## 5. 公的福祉サービス受託事業の推進

### 5-(1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

長年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

年度	実施会場数	実施回数	参加者延人数
R3 年度	<b>254 カ所</b>	<b>1,734 回</b>	<b>18,746 人</b>
R2 年度	257 カ所	1,429 回	14,983 人
R1 年度	372 カ所	2,943 回	37,842 人

◆公民館区ごとの実施状況

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
城西	1	2	古江	3	10
城東	4	15	生馬	7	28
城北	3	13	鹿島	11	81
白潟	9	29	法吉	7	32
雑賀	6	59	津田	6	25
朝日	9	43	竹矢	7	230
朝酌	2	6	大庭	13	52

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
持田	8	51	古志原	10	50
本庄	5	19	八雲	17	122
川津	10	86	乃木	8	115
美保関	18	104	忌部	7	19
八束	5	7	玉湯	11	36
島根	13	87	宍道	13	111
大野	6	14	東出雲	25	261
秋鹿	10	27	合計	254	1,734

#### ア) 継続支援、立ち上げ支援

前年度からの継続会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をしました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

#### ◆継続支援、立ち上げ支援の状況

立ち上げ相談・説明会・支援	12 地区 (50 回)
立ち上げボランティア行事用保険	3 会場 9 件 (約 212 人分)
物品提供	3 会場 9 件
継続会場支援相談・継続会場支援	51 会場 79 件
情報誌作成 (なごやか通信の発行)	2 回 (1 月・3 月)

#### イ) 「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

#### ◆全体研修会の開催

全体研修会として実施しているなごやか見本市は、出前講座の体験(見本市)を通して、なごやか寄り合い継続のためのヒントや今後の活動に役立つ情報を得る機会として、なごやか寄り合いの世話人の方々を対象に年1回開催しています。今年度は11月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止としました。

#### ◆ブロック研修会の開催

例年、ボランティア(世話人)による実践報告や、ボランティア(世話人)同士の情報交換を通して、「なごやか寄り合い」をよりよくするためのヒントを学ぶことを目的に開催していますが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大のため開催することができませんでした。

#### ◆コロナ禍におけるなごやか寄り合い事業の再開と継続に向けた支援

全体研修会である「なごやか見本市」の開催に代わって、今までにご協力いただいた出前講座が可能な団体の情報をまとめた一覧「なごやか寄り合いプログラム集」を作成し配布しました。

また、ブロック研修会の開催に代わって、「コロナ禍におけるなごやか寄り合いについて」と題し、なごやか寄り合い事業の継続と再開に向け、感染症予防対策などボランティア(世話人)の方々に伝えたいことをまとめた動画を制作し、DVDにして地区社協へ配布しました。

## 5-(2) まつえ障がい者サポートステーション絆の運営

【生活支援課】

障がい(児)者相談員が障がい(児)者の生活上の問題の相談に応じ、情報提供・助言・その他障がい福祉サービスの利用支援を行うとともに、関係機関との連携を図り、障がい児(者)の地域生活に関わる相談を行いました。

その運営については、松江市との合同事務局として推進しました。

### ◆相談実績

年度	相談者実人数(者) / (児)	相談延件数(者) / (児)
R3年度	202人 / 99人	815人 / 133人
R2年度	210人 / 87人	945人 / 134人
R1年度	214人 / 73人	829件 / 100件

#### ○障がい者サポートステーション「絆」運営

運営・事務局会議(社会福祉審議会に向けての事前協議) 計 10 回実施

○エスコ・ウィッシュ・絆との定例会(エスコ・ウィッシュとの連携についてサポート絆の事務局との協議) 計 5 回実施

○事業所連絡会(サポート絆の構成事業所との協議及び事例検討) 計 5 回実施

#### ○絆研修関係

・アセスメント力向上事例検討会 計 2 回実施

・関係団体、学校等への出前講座 計 1 回実施

・公開講座「自閉スペクトラム症のある人への理解と支援」 計 1 回実施

### ◆知的障がいをもつ働く青年たちの仲間づくりと、余暇活動の支援、それを支えるボランティアの組織づくり

○コスモスの会(障がい者余暇支援団体)との連絡会 計 11 回実施

### ◆公民館を拠点とする障がい者の活動支援

項目	年間実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数
湖北だんごの会	18回	54名	90名

## 5-(3) 生活困窮者自立相談支援事業(松江市くらし相談支援センター)

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、自立相談支援業務を行いました。令和3年度も新型コロナウイルスの影響による生活福祉資金の特例貸付からつながるケースも多くありました。特例貸付や住居確保給付金など制度利用後の生活状況のアンケートを実施し、相談支援が途切れない取り組みを行いました。当事者の声を多くの方に届ける取り組みとして、「新型コロナウイルス感染症対応報告」を作成し、自治会連合会、公民館館長会、民生児童委員協議会、地区

社協などで報告を行いました。また、自治会連合会の協力により町内会へ回覧を行いました

◆松江市くらし相談支援センター相談件数

年度	新規相談者実人数
R3 年度	609 人
R2 年度	1,169 人
R1 年度	424 人

◆月別相談件数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	56	58	62	54	54	63	56	44	26	48	42	46

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

相談内容	人数 (%)	年齢別	
		10 代	6 人 (1.0%)
病気・健康	67 人 (6.9%)	20 代	84 人 (13.8%)
住まい	94 人 (9.7%)	30 代	81 人 (13.3%)
収入・生活費	415 人 (42.7%)	40 代	109 人 (17.9%)
家賃やローン	53 人 (5.5%)	50 代	116 人 (19.1%)
税金・公共料金支払	55 人 (5.7%)	60 代	77 人 (12.7%)
債務	45 人 (4.6%)	70 代	61 人 (10.0%)
仕事探し・就職	89 人 (9.2%)	80 代以上	9 人 (1.5%)
仕事上の不安・トラブル	16 人 (1.6%)	不明	65 人 (10.7%)
地域との関係	4 人 (0.4%)		
家族との関係	39 人 (4.0%)		
子育てのこと	12 人 (1.2%)	性別	
介護のこと	10 人 (1.0%)	男性	356 人 (58.6%)
引きこもり・不登校	7 人 (0.7%)	女性	243 人 (40.0%)
DV・虐待	4 人 (0.4%)	夫婦	
食べるものがない	24 人 (2.5%)	法人等	9 団体 (1.5%)
その他	38 人 (3.9%)		

区分	支援内容	人数
制度利用	住宅確保給付金	47 人
	一時生活支援事業	11 人
	家計相談支援事業	28 人
	就労準備支援事業	30 人
	被保護者就労準備支援事業	8 人
	入居債務保証	49 人

区分	支援内容	人数
制度利用 (続き)	生活福祉資金	57人
	民生融金	8人
	フードバンク	239人
	就労自立促進事業	30人
	自立相談就労支援	62人
他機関への 引継ぎ ・ 同行	ハローワーク同行・連絡調整	286人
	法テラス	113人
	サポートステーション絆	68人
	地域包括支援センター	243人
	市関係機関	384人

#### ①自立相談支援事業

生活困窮者の就労その他の自立に関する相談支援で、自立支援計画（プラン作成）を作成し、関係機関と連絡を取りながら包括的に実施しました。

#### ②一時生活支援事業

緊急に衣食住の確保が必要な方に、緊急一時的な宿泊場所の調整や食糧支援等を行い、就労や住まい探しなどの相談支援を行いました。

#### ③住居確保給付金

離職により住居を失い生活に困っている方、または住居を失うおそれの高い方に、一定期間の松江市からの家賃支給申請を行い、安心して就職活動ができるように支援を行いました。

#### ④家計改善支援事業

家計の視点から必要な情報提供などを行うとともに、相談者自身が家計を管理できる力を高める支援や家計に関する課題を解決するための様々な機関につなぐなどの支援を行いました。

#### ⑤就労準備支援事業

就職活動や社会との関わりに不安がある方などを対象に就労に向けた個別的就労準備支援や就労準備講座の開催を行いました。

#### ⑥入居債務保証制度

家賃等について継続的に支払いができる方で、賃貸住宅に入居する際の保証人がいないために住居の確保ができない方を対象に社会福祉協議会が滞納家賃等を保証し、住まいの確保を支援しました。

## ⑦フードバンク事業

くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、市福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的な対応としてフードを提供しました。

## ◆提供者数

項目	実利用者	延べ利用者
提供数	149名	239名

## ◆ひとり一品運動

生活困窮者へのフード提供や、生活困窮世帯、特にコロナ禍の影響を受けて収入が減少し、負担が増えた「ひとり親世帯」等を支援するために、5月・11月の計2回、「ひとり一品運動」を実施しました。お米・缶詰・乾麺・インスタント食品、日用品等の寄贈を広く市民に呼びかけ、多く品物を寄贈いただきました。

## ○寄付件数

寄付者数（個人・団体）305件 数量 8,170点

## ◆ひとり親世帯等への食料・日用品の提供

ひとり一品運動で寄付をいただいた物品やコロナ禍における共同募金助成事業を利用し、「ひとり親世帯」を中心とした生活困窮世帯への支援を行いました。

日時	提供世帯数	提供品	備考
6月27日	146世帯	食品(米・水・レトルト食品・お菓子等)、日用品	
12月12日	106世帯	食品(米・水・レトルト食品・お菓子等)、日用品	
2月8日～ 2月22日	83世帯	食品(米、そば等)	随時受け取り
合計	335世帯		

【生活支援課】

## ⑧「助っ人弁護士制度」(法テラス島根との連携)

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や法律相談を行い、司法と福祉の連携を図りました。

## ◆助っ人弁護士制度の実績

年度	方法	件数
R3年度	面談での法律相談・情報提供	47件
R2年度	面談での法律相談・情報提供	52件

## 5-(4) 高齢者あんしんサポート事業

【生活支援課】

身寄りのない高齢者を支援する「高齢者安心サポート事業」を実施しました。

◆契約件数

年度	新規契約件数
R3 年度	0 件
R2 年度	5 件

◆相談ケースについて

相談件数	29 件
内契約に向け継続相談件数	3 件

◆契約締結審査会

内容	期日	新規審査件数
第 4 回	12 月 7 日	1 件

◆事業説明

内容	期日
松江医療センター	9 月 28 日
松江日赤	12 月 20 日

5-(5) 松江市成年後見制度中核機関運営事業（松江市権利擁護推進センター）

【生活支援課】

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分となっている方の権利と暮らしを守るために、平成 12 年に成年後見制度が施行されてから約 20 年が経ちました。平成 28 年に成年後見制度利用促進法が制定され、そして平成 29 年には第 1 期成年後見制度利用促進基本計画が定められました。これらは、「成年後見制度を適切に活用し、『地域での、その人らしい生き方』を社会全体で支えるしくみを整えよう！」と呼び掛けています。これを受け、松江市では第 5 次地域福祉計画・地域福祉活動計画の中に成年後見制度利用促進計画が盛り込まれ、成年後見制度の利用促進を担う中核機関を設置すること、また権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築することが定められました。そして、誰もが権利擁護に関する悩みを相談でき、また必要な時に適切に制度を利用できるようにするための相談支援機関（中核機関）として、令和 3 年 7 月に「松江市権利擁護推進センター」が設置されました。

①相談受付業務（R3 年 7 月～R4 年 3 月）

成年後見制度に関する相談だけではなく、日常生活自立支援事業などの権利擁護に関する相談支援機関として、市民の皆様へ寄り添った対応を行いました。また関係機関と連携をし、権利擁護の支援が必要な方を早期に発見し、必要な支援につなげました。

◆相談実績

年度	新規相談件数（実数）	相談支援回数（延数）
R3 年度	99 件	325 回

◆新規相談における対象者の分類（重複あり）

分類 年度	認知症	知的障がい	精神障がい	身体障がい	障がい 高次脳機能	発達障がい	その他	不明	計
R3年度	38	12	20	8	2	0	26	2	108

◆主な相談内容（重複あり）

相談内容	新規実件数	延件数
成年後見制度の相談	47件	88件
成年後見申立て支援	14件	30件
日常生活自立支援事業	21件	45件
金銭管理	18件	37件
住居	4件	14件
相続・遺言	5件	13件
虐待・権利侵害	8件	13件
財産・資産	4件	10件
任意後見	4件	10件
その他	7件	27件

②利用促進業務

成年後見制度を必要とするご本人の状況や課題に応じて適切な後見人等を選任するための受任者調整を行いました。また、制度利用の促進に向けた担い手育成事業を実施しました。

ア) 受任者の調整

松江市権利擁護推進センターでは、本人がメリットを感じることができるよう、専門職（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会、松江後見センター）で構成する「受任者調整会議」によって、適切な受任者の調整を行いました。

◆受任者調整件数および受任者調整会議開催回数

年度	受任者調整件数	受任者調整会議
R3年度	27件	15回

◆受任者調整結果

団体 候補者選出 年度	弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	松江後見 センター	松江市社協 (法人後見)	松江市社協 (市民後見)	計
R3年	6件	4件	1件	8件	7件	1件	27件

イ) 担い手育成

今後、制度の利用が必要な方の増加に伴い、後見人が不足することが見込まれます。松江

市権利擁護推進センターでは、ご本人に寄り添い、より身近なかたちで支援を行うことができる市民後見人等の養成を行っています。

◆令和3年度松江市市民後見人等養成講座【基礎講座】 修了者 26人

開催日	時間	内容
【1日目】 11月20日(土)	9:30~15:15	「成年後見制度と市民後見について学ぶ」
【2日目】 11月27日(土)	9:00~15:00	「支援を必要とする人と特性について学ぶ」
【3日目】 12月11日(土)	9:30~12:00	「市民後見活動を知る」

◆令和3年度松江市市民後見人等養成講座【実務講座】 修了者 12人

開催日	時間	内容
【1日目】 8月28日(土)	9:30~15:00	・対人援助の基礎 ・成年後見の実務Ⅰ 「日常生活自立支援事業と成年後見制度」
【2日目】 9月4日(土)	9:30~15:50	・家庭裁判所の役割 ・地域福祉の現状と課題 ・権利擁護と成年後見 ・成年後見の実務Ⅱ 「成年後見制度の利用開始(申立手続)」
【3日目】 9月11日(土)	9:30~15:10	・成年後見の実務Ⅲ「報告書の作成」 ・成年後見の実務Ⅳ「身上保護の実務と知識」 ・成年後見の実務Ⅴ「後見事務終了時の手続き」
【4日目】 9月18日(土)	9:00~12:00	・当事者の声をきく ・市民後見人座談会 ・地域の現状
【実習】 9月6日~ 9月17日	平日約3時間	・日常生活自立支援事業の支援同行
【5日目】 9月25日(土)	13:30~16:30	松江市市民後見シンポジウム ・成年後見の実務Ⅵ 「市民後見活動について知り、考える」

※レポート作成(A4用紙1枚程度)

テーマ①「講義を通して学んだこと、気づいたこと」

テーマ②「わたしが思い描く市民後見人像」

◆松江市市民後見人等養成事業の推移

本会の市民後見人候補者バンク運営基準を満たした方に、バンク登録の声掛けをさせて頂き、新たに6名の方が登録されました。

受任者調整会議を経て、市民後見人候補者バンク登録者の中から家庭裁判所へ推薦した結果、新たに2名の方が市民後見人に選任されました。

事業 \ 年度	H23-27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
基礎講座修了者	91	8	19	6	10	21	26	181
実務講座修了者	43	8	0	6	4	4	12	77
生活支援員登録者	32	5	0	2	1	2	5	47
生活支援員活動者	19	1	0	2	1	2	5	30
法人後見支援員登録者	1	1	0	0	0	0	5	7
法人後見支援員活動者	0	1	0	0	0	0	4	5
市民後見人候補者バンク登録者数	0	9	0	1	1	1	6	15 ※1
市民後見人受任者数	0	0	0	0	1	2	2	5

※1 令和3年度に市民後見人等候補者バンク満期登録者の更新手続きを行った結果、3名の方が更新辞退されています。

※2 上記の数字は年度末時点での数字を計上しています。

◆松江市市民後見シンポジウム

事業名	内容
松江市市民後見シンポジウム	<p>●日時 令和3年9月25日(土) 13:30~16:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 4階 大ホール</p> <p>参加者 約40名</p> <p>内容 【基調講演】</p> <p>「地域における権利擁護の支援のあり方」</p> <p>～意思決定支援ガイドラインを踏まえて～</p> <p>講師 岡山高齢者・障害者権利擁護ネットワーク代表 弁護士 竹内 俊一 氏</p> <p>【パネルディスカッション】</p> <p>パネリスト 現役市民後見人3名</p> <p>進行役 法テラス島根法律事務所 弁護士 朝岡 周太郎 氏</p>

③後見人等支援業務

後見人等の相談に応じるとともに、必要に応じて本人に身近な親族、福祉・医療・地域等の関係者によるチーム作りを支援し、モニタリング機関とも連携をとりながら、後見人等を孤立させ

ない支援体制を整備しました。

◆後見人等への引継ぎ

受任者調整会議を経て、後見人等選任の審判がおりた後の、本人や親族・後見人・支援者との顔合わせの会を随時行いました。後見人が既存のチームにスムーズに入ることができ、また後見業務が円滑にスタートできるようご本人の想いや課題等を後見人へ伝え、引き継ぎを行いました。

◆後見人支援チーム会議

支援困難なケースやチームが未形成のケースについては、必要に応じて後見人等と本人、親族、関係者による支援チーム会議を開催し、チーム作りを支援しました。

年度	後見人支援チーム会議	アドバイザー依頼
R3年度	2回	1名（弁護士）

◆親族後見人意見交換会

事業名	内 容
第1回 親族後見人さんのつどい	<p>●日時 令和4年2月25日（土）10:00～11:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 3階 婦人研修室</p> <p>参加者 4名</p> <p>趣旨 ①親族後見人等が気軽に立ち寄ることができ、また親族後見人同士情報交換を行える場をつくる。</p> <p>②親族後見人等が抱えている悩み・ニーズをキャッチし、後見人支援として何ができるのかを検討する。</p> <p>③ご本人の権利擁護の視点にたった後見活動を、親族後見人等と一緒に考え推進していく。</p> <p>内容 自己紹介、弁護士からの講話、フリートーク</p> <p>協力者 法テラス島根法律事務所 弁護士 三村 明 氏</p>

④広報・啓発業務

松江市権利擁護推進センターの役割を広く知っていただくための広報活動を行いました。また成年後見制度の理解と利用促進が図られるよう、市民の皆様に対し公開講座や地域に出向いて出前講座などを開催しました。専門職や関係機関に対しても、啓発および情報提供を行いました。

ア) 広報・啓発用ツールの作成

○リーフレットの作成 作成部数：2500部

配布部数：約2080部

○機関紙「まもる」第1号作成 作成部数：1500部

配布部数：約1220部

○松江市権利擁護推進センター マスコットキャラクター「まもるくん」作成

○クリアファイル作成 作成部数：500部

配布部数：250部

○松江市権利擁護推進センター 社協内 HP 作成

○成年後見制度利用促進・啓発ビデオ「つばきさんの一生～つばきさんと成年後見制度～」  
作成 DVD 作成本数：50 本（字幕なし Ver.）

イ) 松江市権利擁護推進センターの事業説明

内 容	期 日
松江医療センター	令和 3 年 9 月 28 日
松江市病院連携推進会議	令和 3 年 11 月 11 日
松江日赤	令和 3 年 12 月 20 日
令和 3 年度松江市介護サービス事業者 集団指導（YouTube 配信）	令和 4 年 2 月 24 日～ 令和 4 年 3 月 16 日

ウ) 成年後見制度講演会・なんでも相談会の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」をテーマに、成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の市民講座を開催しました。

合わせて、島根県弁護士会・法テラス島根法律事務所・地域包括支援センター協賛による、「なんでも相談会」を同時開催しました。

◆成年後見制度相談会等

事業名等	内 容
成年後見制度講演会・なんでも相談会	<p>●日時 令和 3 年 10 月 30 日（土） 13:30～16:45</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール</p> <p>参加者 104 名（講演会）、8 名（なんでも相談会）</p> <p>内容 【成年後見制度講演会】 「ご存知ですか？成年後見制度 ～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」 講師 法テラス島根法律事務所 弁護士 朝岡 周太郎 氏</p> <p>【なんでも相談会】 協賛 島根県弁護士会、法テラス島根法律事務所、 地域包括支援センター</p>

エ) 出前講座・研修会講師

事業名等	内 容
八雲寿大学	<p>●日時 令和 3 年 10 月 5 日（火）</p> <p>会場 八雲公民館</p> <p>演題 「成年後見制度について」</p> <p>参加者 約 15 名</p>

事業名等	内 容
松江市民生児童委員協議会連合会第2ブロック研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年11月4日(木)</li> <li>会場 持田公民館</li> <li>演題 「成年後見制度及び高齢者サポート事業について」</li> <li>参加者 約50名</li> </ul>

## ⑤地域連携ネットワークの構築

### ア) 権利擁護部会の開催

事業名等	内 容
権利擁護部会 第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年11月25日(木) 10:00~11:00</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室</li> <li>出席者 23名</li> <li>内容 ①委嘱状の交付、②委員紹介、③部会長の選出、④部会長あいさつ ⑤松江市セーフティネット会議権利擁護部会の位置づけについて ⑥松江市権利擁護推進センター事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の経過報告について</li> <li>・令和3年度の今後の取組について</li> </ul> </li> </ul>
権利擁護部会 第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年3月11日(金) 10:00~11:00</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室</li> <li>出席者 27名</li> <li>内容 ①部会長あいさつ ②松江市権利擁護推進センター事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の実績報告について</li> <li>・令和4年度に向けての取組について</li> </ul> </li> <li>③成年後見制度利用促進・啓発ビデオ上映</li> </ul>

## 6. 介護保険関係事業の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する4つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう基盤整備に努め、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

### 6-(1) 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

### ①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。  
(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

#### ◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

年度	職員数
R3年度	2人
R2年度	2人
R1年度	2人

#### ◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作成 人数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R3年度	750	0	84	109	240	204	57	49	73	0	7,768	1,235
R2年度	763	14	66	46	292	208	83	54	0	0	8,494	1,839
R1年度	750	21	69	39	310	206	81	23	1	1	7,044	1,774

### ②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)7名(嘱託3名、パート4名)体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

#### ◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R3年度	2人	1人	4人
R2年度	2人	2人	7人
R1年度	2人	2人	7人

#### ◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R3年度	32	114	133	110	153	41	21	6	610
R2年度	22	51	74	140	176	37	23	0	523
R1年度	50	49	78	184	132	48	20	5	566

## 6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

### ①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

#### ◆美保関居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R 3 年度	2 人
R 2 年度	2 人
R 1 年度	2 人

#### ◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作成人数	総 合	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R 3 年度	924	26	136	139	250	198	103	62	10	0	3,645	1,191
R 2 年度	945	32	154	84	315	183	84	73	20	0	3,784	1,355
R 1 年度	859	52	131	85	290	149	92	57	3	0	3,264	1,042

### ②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)9名(嘱託3名、パート6名)体制により、身体上または精神上的障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

#### ◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R 3 年度	2 人	1 人	6 人
R 2 年度	2 人	1 人	6 人
R 1 年度	2 人	1 人	6 人

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績

(人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R 3 年度	28	140	211	229	118	13	40	21	800
R 2 年度	29	141	226	265	55	10	39	19	784
R 1 年度	32	112	218	251	28	32	34	14	721

③通所介護事業及び介護予防通所介護事業

通所介護事業及び介護予防通所介護事業所を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

◆美保関通所介護及び介護予防通所介護体制（兼務有）

年度	生活相談員	看護職員(機能訓練)	介護職員
R 3 年度	3 人	3 人	9 人
R 2 年度	3 人	3 人	9 人
R 1 年度	3 人	3 人	10 人

◆美保関通所介護事業

年 度	利用 者数	年度 末実 稼働 日数	利用 者数	年間 延入 浴 利用 者数	利用 者数	年間 延食 事 利用 者数	利用 者数	一日 平均 利用 者数	3h ～ 4h(人)	通所 介護	4h ～ 5h(人)	通所 介護	5h ～ 6h(人)	通所 介護	6h ～ 7h(人)	通所 介護	7h ～ 8h(人)	通所 介護
R 3 年度	29	304	4,086	3,930	4,086	14.4	29	3	148	460	3,446							
R 2 年度	37	308	5,480	5,242	5,480	17.7	1	0	10	387	5,072							
R 1 年度	38	308	5,060	4,798	5,060	16.4	6	7	2	82	4,963							

◆美保関介護予防通所介護事業

年 度	利用 者数	年度 末実 稼働 日数	利用 者数	年間 延入 浴 利用 者数	利用 者数	年間 延食 事 利用 者数	利用 者数	一日 平均 利用 者数	総合 事業	介護 予防 通所 介護	介護 予防 通所 介護
R 3 年度	7	304	352	251	352	1.1	5	162	180		
R 2 年度	5	308	295	222	276	0.9	23	150	122		
R 1 年度	10	308	488	350	392	1.5	45	269	174		

【地域福祉課】

④美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー

美保関・雲津地区で買い物に苦慮している住民に対し、美保関介護センターの車両を使い商業

施設への移送・買い物支援を行いました。毎月第3金曜日に実施し、延べ35名が参加されました。(7月8月は豪雨災害の影響での土砂崩れや路面悪化、通行止めにより美保関介護センター通所介護事業に伴う送迎時間の延長による車両・運転手の確保が困難となり中止しました。1月2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加者から中止の申し出がありました。)

### 6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

#### ①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

##### ◆松南居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R3年度	2人
R2年度	2人
R1年度	3人

##### ◆松南介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

年度	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R3年度	835	13	50	172	342	132	62	47	17	0	5,552	1,514
R2年度	1,055	52	53	173	401	187	111	58	20	0	6,649	2,049
R1年度	1,264	97	63	175	455	245	143	66	20	0	8,218	3,052

#### ②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)8名(嘱託2名、パート6名)体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R3年度	1人	1人	6人
R2年度	1人	1人	7人
R1年度	1人	1人	7人

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R3年度	28	84	120	77	73	1	17	0	400
R2年度	11	72	73	140	53	14	12	7	382
R1年度	22	43	99	162	54	13	23	3	419

6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆宍道居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R3年度	3人
R2年度	3人
R1年度	3人

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

年度	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R3年度	1,013	92	43	109	311	235	98	102	23	0	1,671	1,222
R2年度	1,285	142	68	202	400	225	137	86	25	0	2,220	1,552
R1年度	1,202	109	68	129	411	226	165	66	28	0	2,151	1,663

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)9名(嘱託1名、常勤1名、パート7名)体制により、身体上または精神上的の

障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R 3 年度	1 人	1 人	7 人
R 2 年度	1 人	1 人	9 人
R 1 年度	1 人	1 人	10 人

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R 3 年度	0	115	164	69	83	48	13	0	492
R 2 年度	0	77	100	90	93	59	4	11	434
R 1 年度	4	81	88	100	99	31	16	24	443

6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5年更新）が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

年度	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	更新	計
R 3 年度	2	5	0	12	8	27
R 2 年度	0	0	2	0	7	9
R 1 年度	2	6	2	3	1	14

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るためグループに分け内部の社協内訪問介護事業所の全体研修を実施しました。

事業名等	内容
訪問介護員 内部研修 1回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和3年6月25日(月)、28日(木)</li> <li>会場 松江市総合福祉センター、松江市鹿島支所正庁</li> <li>参加者 35名</li> <li>内容 「ヨガの基礎を学びストレスの軽減を図る」</li> </ul>

事業名等	内 容
1 回目（続き）	講師 松東事業所美保関介護センター班長 奥村 薫
2 回目	●コロナ感染予防のため各事業所でミーティング時に実施 参加者 28 名 内容 手洗いチェッカーを使用し、正しい手洗いを学ぶ

### ③居宅介護支援専門員内部研修

社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため事例検討会等計画しましたが新型コロナウイルス感染症予防のため中止としました。

松江圏域の研修会に参加しました。

### 6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【総務課】

島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

年度前半については、36 カ月更新分と前年度 12 カ月延長した件数がプラスされたことで予想以上に申請件数が多くなり訪問予定が 1 カ月以上先になる等、ひっ迫した状況がありました。年度後半では新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い再び更新申請分の延長措置希望が増え、調査希望が減少しています。

#### ◆介護認定訪問調査事業体制

年度	正規	嘱託	パート
R3 年度	2 人	18 人	4 人
R2 年度	3 人	15 人	5 人
R1 年度	3 人	14 人	5 人

#### ◆調査件数

(件)

年度	在宅	施設	合計
R3 年度	6,771	4,197	10,968
R2 年度	3,505	2,947	6,452
R1 年度	6,299	4,316	10,615

#### ア) 介護認定調査員の資質の向上

認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

◆調査員研修

事業名等	内容
<b>【松江市主催】</b> 令和3年度 松江市認定調査員現任研修	●日時 令和3年8月6日(金) 内容 ・介護認定状況について ・令和3年度総合事業について ・調査項目7. 障がい高齢者自立度および認知症高齢者自立度の判定について(事例検討、グループ発表) 講師 介護保険課 認定係 大島 志保子 氏 介護企画係 尾添 聡美 氏 参加者数 24人

イ) 他市町村からの介護認定訪問調査の受託

松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

年度	件数
R3年度	6
R2年度	6
R1年度	10

## 7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する4つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

また、3つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し1つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

### 7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

#### ①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サー ビス 提供 時間	平均 利用 時間
R 3 年度	741 回	7 人	7 人	617 時間 30 分	50 分
R 2 年度	866 回	7 人	7 人	751 時間 15 分	52 分
R 1 年度	968 回	8 人	10 人	881 時間 30 分	55 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サー ビス 提供 時間	平均 利用 時間
R 3 年度	28 回	5 人	7 人	82 時間	1 時間 00 分
R 2 年度	32 回	5 人	7 人	101 時間 30 分	3 時間 10 分
R 1 年度	37 回	2 人	10 人	63 時間 30 分	1 時間 43 分

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サー ビス 提供 時間	平均 利用 時間
R 3 年度	1,011 回	12 人	9 人	828 時間 30 分	49 分
R 2 年度	1,145 回	18 人	9 人	1,215 時間 00 分	1 時間 03 分
R 1 年度	1,349 回	16 人	9 人	1,243 時間 00 分	55 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービ ス提 供 時 間	平均利用時間
R 3 年度	28 回	2 人	7 人	43 時間 00 分	1 時間 30 分
R 2 年度	24 回	2 人	9 人	44 時間 30 分	1 時間 51 分
R 1 年度	37 回	2 人	10 人	63 時間 30 分	1 時間 43 分

③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

【総務課：松南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービ ス提 供 時 間	平均利用時間
R 3 年度	74 回	1 人	6 人	46 分	35 分
R 2 年度	226 回	2 人	9 人	258 時間 30 分	1 時間 09 分
R 1 年度	272 回	3 人	10 人	271 時間 30 分	1 時間 00 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービ ス提 供 時 間	平均利用時間
R 3 年度	8 回	1 人	2 人	8 時間 10 分	2 時間 30 分
R 2 年度	0 回	0 人	0 人	0 分	0 分
R 1 年度	2 回	1 人	10 人	7 時間 00 分	3 時間 30 分

④宍道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受

け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R3年度	732回	10人	9人	888時間00分	1時間10分
R2年度	1,001回	9人	11人	1,108時間15分	1時間06分
R1年度	971回	8人	12人	1,025時間45分	1時間03分

## 8. 児童福祉サービスの推進

### 8-(1) 児童センター等の受託運営

【総務課：松南事業所】

#### ①八雲児童センター運営事業

0歳から18歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆利用実績

(延べ人数)

年度	0～6歳	小学生	中高生	大人	合計
R3年度	984人	584人	3人	2,818人	4,389人
R2年度	639人	497人	4人	2,267人	3,407人
R1年度	1,720人	874人	30人	3,724人	6,348人

コロナ禍により、行事の中止や縮小したものもあり、前年度に引き続き利用者数が少ない状況となりましたが、他の施設等との連携で年間をとおして多様な行事を行いました。

▼毎月1回 絵本とあそぼう会、ファミリーサークル、  
わいわいサロン（中止）、布のおもちゃ作り

▼年1回～2回 どんぐり館まつり（中止）、表現ワークショップ、わらリズム、  
音楽コンサート、お月見会、陶芸体験、食育講座、リフレッシュ体操、  
幼児救急法等

#### ②八雲児童・子育て事業

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域での多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラくらぶ」を実施しました。

事業名等	内容
子育てサロン 「星キラくらぶ」	●回数 33回 会場 八雲児童センター 参加者 204名（親子）

子育てサロンの活動を支える若いお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親の増加や、幼稚園児の減少により参加者が減少していることもあり、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけ実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラママ」	●回数 13回 会場 八雲児童センター 参加者 229人（地域の高齢者の方々を含む） 内容 陶芸、3B体操、コンサート等

### 8-(2) 子ども食堂の取り組み

【地域福祉課】

経済的な問題や孤食の問題の解消だけでなく、家族以外の地域の人との交流や「食事の場面」を通じて子どもの人格形成に必要な知識や体験を学ぶ場、気軽に安心して立ち寄れる居場所として子ども食堂の立ち上げ・運営支援をしました。

また、松江市内の子ども食堂運営者や立ち上げ希望者同士の横のつながりを作るべく、今年度初めて「松江市子ども食堂交流会」を実施しました。

#### ◆松江市子ども食堂交流会

事業名等	内 容
第1回松江市 子ども食堂交流会	●日時 令和3年10月25日（月）10:00～11:30 参加者 29名 内容 ・事例発表（2件） ・意見交換を目的としたグループワーク
第2回松江市 子ども食堂交流会	●日時 令和4年3月7日（月）10:00～11:30 参加者 18名 内容 ・子ども食堂立ち上げを想定したシミュレーション

### 8-(3) みんなのいこい食堂

【総務課】

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を見合わせました。

## 9. 福祉施設等管理運営事業の受託

### 9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点として利用がありました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を講じながら、対応マニュアルに沿って貸館業務を行い安全な管理に努めました。なお、会館の利用活性化を目的に実施していた月 1

回実施して「朝市」「みんなのいこい食堂」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせました。

◆開館実績：令和3年度 362日 9:00～21:00（日曜 9:00～17:00、祝日 9:00～18:00）

年度	施設利用人員
R3年度	27,145人
R2年度	21,373人
R1年度	52,318人

### 9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課：湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すぱーく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や体協支部の交流の場として市内外の方々の利用がありました。

◆利用実績

年度	利用件数	時間数	利用人員（延べ）
R3年度	148件	516時間	2,565人
R2年度	126件	440時間	2,136人
R1年度	140件	501時間	2,627人

### 9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業

【総務課：松東事業所】

市からの指定管理者として管理運営を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、体験学習やボランティアの受け入れは中止しました。

◆主な活動事業

事業名	年間回数	備考
美保関地区高齢者クラブ会議	4回	

## 10. 「地域共生社会の実現に向けた」の地域づくり推進

### 10-(1) 重層的支援体制整備事業

【地域福祉課】

令和3年度から国の新たな事業として重層的支援体制整備事業が始まりました。

各包括エリアにおいて、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）と地域包括支援センター相談員同志のチームとしての連携を強化し、社協内各課の横断的な協働支援、さらに公民館、地区社協、社会福祉法人・企業・NPO法人等とともに、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開し、誰も取りこぼすことのないつながりのある包括的支援体制の構築に向け取り組みました。

## ①多機関協働事業

### ①-1 相談支援事業（相談の受けとめ）

#### ア) ふくしなんでも相談所の相談対応

市民の皆様の身近なご相談（悩みごと）をお受けし総合的にサポートするとともに、周知活動を行いました。

#### ◆周知活動

○ふくしなんでも相談所ちらし：市内薬局、民協、地区社協、公民館他に配布

○ふくしなんでも相談所カード：市内小中学校、宍道高校、薬局に配布

○ふくしなんでも相談所看板リニューアル

#### ◆相談件数

年度	R3年度	R2年度	R1年度
相談件数	359件	288件	202件

#### ◆相談内容

内容	介護	家庭	体心	住まい	経済	孤立	子育て	就労	権利	近隣	地域	他	計
件数	77	35	79	65	62	28	15	23	8	24	18	133	567
%	13.6	6.2	13.9	11.5	10.9	4.9	2.6	4.1	1.4	4.2	3.2	23.5	100

#### イ) 福祉総合相談システム（相談管理システムゆめと）の活用

システムを導入し、受けた相談の一元管理を行いました。

#### ウ) ふくしなんでも相談所窓口の拡充

松江市社会福祉法人連絡会に参加している9つの社会福祉法人が各事業所に20か所の「ふくしなんでも相談窓口」を、市内の薬局13か所が「ふくしなんでも相談所連携薬局」を設置され、令和4年4月からの相談受付に向け準備しました。相談受付に際し、令和4年1月27日に研修会を開催しました。（オンライン形式 参加法人 8法人）

今後、担当分野にとらわれない福祉の相談を受け付け、各専門機関やふくしなんでも相談所につないでいきます。

#### エ) 民間企業との連携

ふくしなんでも相談所の出張版として、イオンリテール株式会社との連携によりイオン松江ショッピングセンターを会場に「ふくしなんでも相談所 in イオン松江」を毎月第3火曜日に12回開催し、44件の相談を受け付けました。

#### オ) 総合相談調整室でのケース進捗管理

総合相談調整室でのケースの把握と管理を行い、毎月第4水曜日に事務局長、各課長、各係長が参加、社協内のケースの共有を行う「相談事業所連絡会」を開催し、受け付けた相談の課題解決に向けた進捗管理を行いました。

#### カ) 対応が困難なケースへの対応

複雑・複合化したケース（処遇困難事例）について社協の職員が全課横断的に集まり、解決に向けた検討を行いました。（開催延べ件数 27回 検討事例実数 14件）

①-2 重層的支援会議の運営

ア) 重層的支援体制整備事業に係る行政との協議

松江市における包括的支援体制の整備のため、合同事務局であるの市福祉総務課と協議を重ね取り組みました

◆行政協議

事業名等	内 容
事務局連絡会 第1回	●日時 令和3年5月26日(水) 内容 会議の持ち方、実績報告、参加支援事業の保険・覚書、 セーフティネット会議について 参加部署(行政) 福祉総務課
事務局連絡会 第2回	●日時 令和3年6月3日(木) 内容 実績報告、個人情報の取り扱い、会議打ち合わせについて 参加部署(行政) 福祉総務課
庁内連絡会	●日時 令和3年6月29日(火) 内容 事業の全体像について、会議開催までの流れ、 複雑化・複合化した事例の紹介 参加部署(行政) 健康政策課、介護保険課、子育て政策課、 子育て支援センター、障がい者福祉課、生活福祉課、 家庭相談課、福祉総務課
子ども分野担当課 ヒアリング	●日時 令和3年10月28日(木) 内容 重層事業説明、こども分野の相談について、 家庭相談課との連携について 参加部署(行政) 子育て支援センター、健康推進課
事務局連絡会 第3回	●日時 令和4年1月21日(金) 内容 事例対応、次年度のすすめ方、セーフティネット会議について 参加部署(行政) 福祉総務課

イ) 重層的支援会議の開催

学識経験者、弁護士、臨床心理士の助言を受けながら、令和3年度は会議運営のベースができました。高次脳機能障害の金銭管理、8050世帯の対応、ごみ屋敷問題、ひきこもりの参加支援へのつなぎなどの事例について役割分担、支援の方向性を整理しました。

◆重層的支援会議等

開催日	重層的支援会議	支援会議
令和3年7月16日	1件	1件
令和3年9月27日	1件	1件（評価）
令和3年12月16日	0件	3件
令和4年3月15日	1件	5件（評価4件）

※支援会議とは：個人情報同意が得られないケースについて、社会福祉法106条6に基づき、会議構成員に守秘義務を設け、支援を検討する会議をいいます。

①-3 セーフティネット会議

地域共生社会の実現をめざして、高齢者だけでなく、障がいのある方や子どもなどへの支援や地域住民が抱える多様で複合的な課題にも対応する包括的な支援体制の構築が求められています。地域全ての市民が住み慣れた地域で安心して生活ができる社会の実現に向け、生活課題の解決に関係機関が連携し、包括的に対応するため、令和3年7月1日、市社協地域福祉課、生活支援課及び松江市福祉総務課、生活福祉課の共同運営で設置されました。

事業名等	内容
セーフティネット会議 第1回	●日時 令和3年9月（新型コロナウイルス感染症拡大のため書面開催） 内容 会議の趣旨説明、重層的支援体制整備事業・会議の状況報告、ふくしなんでも相談について等
セーフティネット会議 第2回	●日時 令和4年3月15日（火） （新型コロナウイルス感染症拡大のためハイブリット開催） 内容 重層的支援体制整備事業・会議の状況報告、ふくしなんでも相談、権利擁護部会・生活困窮部会からの報告等

②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

長期にわたり、ひきこもりの状態にあるなど、複雑化・複合化した支援ニーズを抱きかかえながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人の相談が入るよう、民生委員、地区社会福祉協議会、福祉推進員、居宅介護支援事業所等関係機関への事業周知を行いました。相談を受け付けた後は、本人と関わるためのきっかけや切り口の検討、本人に会う前の事前調整を行い、関係構築に向けた継続的な働きかけを行いました。

結果が出るまでには時間を要しますが、本人やその家族の状況に変化があり、困った時に相談をして来られる事例もあり、「あきらめない、見放さない」アプローチが必要とされます。

各包括やCSWが定期的に訪問した実件数は6包括合計54件、アウトリーチ担当職員が対応した件数は8件でした。

### ③参加支援事業

参加支援事業は既存の社会参加に向けた事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人のニーズ・希望と地域の資源との間の調整を行いながら支援しました。

ひきこもりの方や就労の意欲があってもうまくいかない方が社会に踏み出す一歩として、協力団体への要請、個々のニーズに合わせたプラン作成に取り組みました。参加型支援事業のプラン作成は2件でした。

### ④地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

P20～ 2-(2) ③地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）をご覧ください

## 11. 災害支援

### 11-(1) 島根町大規模火災に伴う災害ボランティアセンターの開設

【総務課】

令和3年4月1日午後5時30分頃に島根町加賀地区で発生した火災は翌2日午前3時頃まで続き、全焼22棟、部分焼10棟の大きな被害がでました。災害救助法の適用も決定し、地元関係者、行政、県社協と協議を経て、松江市災害ボランティアセンターを設置することとし、被災者の自立・生活再建を支援する活動を行いました。ボランティアの募集範囲については地元の意向及び新型コロナウイルス感染防止の観点から、被災地に関係のある企業・団体及び地元住民に限定して行いました。

#### ◆開設期間

令和3年4月7日（木）～令和3年6月15日（火）

#### ◆開設場所

大津集会所 松江市島根町加賀310

#### ◆活動人員

ボランティア活動者数（延数）： 活動団体 20団体 活動者 130名

運営スタッフ数（実数）： 市社協職員 26名 県社協職員 1日1名～3名派遣

#### ◆設置から閉鎖までの経過

日付	内容
<b>【設置までの経過】</b>	
4月2日	災害状況の情報共有会議 県社協、市社協 ・災害救助法の適用決定
4月3日	関係者合同調整会議 島根公民館長、地区社協会長、自治会長、民生児童委員、県社協 市福祉総務課、市島根支所、市社協 ・地元からの災害ボランティアセンター設置要請

日付	内 容
4月4日～6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難状況や行政の支援状況について</li> <li>設置に向けた協議及び開設準備</li> <li>・開設日、設置場所、ボランティア募集、運営体制について</li> </ul>
<b>【設置後の経過】</b>	
4月7日	松江市災害ボランティアセンター開設
4月8日	ふくしなんでも相談所（加賀サテライト）、フードバンクを併設
4月11日	ボランティア支援活動開始
4月28日	行政による障害物撤去作業の開始、ボランティア支援活動休止
5月16日	ボランティア支援活動再開
5月31日	ボランティア支援活動終了、以後ふくしなんでも相談や食料支援などを中心に活動を継続
6月15日	松江市災害ボランティアセンター閉鎖

◆活動内容実績

内 容	件数	詳細
ボランティア活動	14	主に思い出の品探し
ふくしなんでも相談（来所）	17	
資機材の貸出し・消耗品の提供	8	
食料品の提供	17	
物品の提供	5	靴・鞆／炊飯器／オーブントースター／冷蔵庫など
住まい確保支援	3	引っ越し先の確保調整・物件への同行訪問
その他	4	被災者宅へのベッド搬入、引っ越し支援（運搬・清掃等）

11-(2) 7月大雨災害支援派遣

令和3年7月6日から続いた大雨により、島根県東部を中心に各地で浸水害、土砂災害、河川の氾濫等の被害がでました。松江市においては被害が少なかったことから災害ボランティアセンターの設置には至りませんでした。個々での地域での支援や他市の災害ボランティアセンターへの職員派遣をしました。

①雲南市災害ボランティアセンターへの職員派遣

○派遣期間 令和3年7月25日（日）～令和3年7月28日（木）

○派遣人数 2名

○活動内容 災害ボランティアセンターの運営スタッフとして、ボランティアの受付や送り出し、資機材の整理や受渡しの業務に携わりました。

## ②宍道地区 5 区自治会水害支援

浸水害が大きかった宍道地区 5 区自治会の地元からの相談により、湖南事業所長及び湖南エリア担当 CSW が中心となり、公民館等地元関係機関と協力しながら調査・支援をしました。

○実施日 現地確認・ニーズ調査：令和 3 年 7 月 8 日（木）及び 7 月 12 日（月）

支援活動日：令和 3 年 7 月 17 日（土）

○活動人員 地元関係者を含むボランティア 19 名 市社協職員 2 名

○活動内容 5 区自治会 19 世帯に調査した結果、ボランティアによる支援活動希望は、1 世帯で室内に入った泥の撤去、室内・床下の消毒、室内の清掃、水損した家具等の撤去を行いました。

### 11-(3) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施

災害発生した際に、速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者本位の支援活動が行えるよう、運営スタッフのスキルや経験値の向上や、運営支援者やボランティア活動者への災害ボランティアセンターを理解していただくことを目的に県社協と共催して立ち上げ訓練を実施しました。

事業名等	内容
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	<p>●日時 令和 3 年 11 月 29 日（金）10:00～15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール及び教養室</p> <p>参加者 松江・湖城・葵他ライオンズクラブ会員、松江青年会議所会員、民生児童委員、県災害ボランティアバンク登録者、行政職員、県社協職員、浜田市及び江津市社協職員、松江市社協職員 70 名</p> <p>内容 【講演・ワーク】 「災害ボランティアセンターにおける地域住民・他機関等との協働について」 講師 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏 森本 智喜 氏</p> <p>【演習・まとめ】 「災害ボランティアセンター運営訓練（ロールプレイ）」 松江市中心部が大雨災害あったと想定し、参加者全員が、各班運営スタッフ、ボランティア、被災者に分かれて役割を演じ運営訓練を行う。</p>

### 11-(4) 松江市災害ボランティアセンターマニュアルの改訂

島根町で運営した災害ボランティアセンターや、今まで他県、他市等の災害ボランティアセンターに派遣されて得た経験などを基に、災害ボランティアセンターマニュアルについて、開設ま

での流れや、運営方法、各班の役割など体験に添った内容に一部改訂しました。またコロナ禍による感染予防対策についても盛り込みました。

#### 11-(5) 災害時における支援に関する協定の締結

松江市及びその周辺地域で災害が発生した際に、被災地において活動するボランティアに向けた支援が迅速かつ効果的に行われるよう、市内にある 3 つのライオンズクラブと災害時におけるボランティア支援に関する協定の締結をしました。

また、災害ボランティアセンターの設置及びボランティア活動を円滑に実施するために、松江市と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結しました。

##### ◆災害時におけるボランティア支援に関する協定

事業名等	内 容
調印式	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 3 年 6 月 9 日（水） 10:00～10:30</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</li> <li>参加者 約 20 名</li> <li>内容 松江ライオンズクラブ、松江湖城ライオンズクラブ、松江葵ライオンズクラブ、松江市社会福祉協議会との 4 者協定</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">調印者 松江ライオンズクラブ会長 持田 幸治          松江湖城ライオンズクラブ会長 石松 俊之          松江葵ライオンズクラブ会長 大木 寿之          松江市社会福祉協議会会長 加藤 滋夫          立会人 松江市長 上定 昭仁</p>

##### ◆松江市災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定

○締結日 令和 3 年 6 月 1 日（火）

松江市社会福祉協議会 職員数

令和4年3月31日

所属		正規職員 専務含む	継続雇用 職員	嘱託 職員	臨時 職員	パート 職員	計
専務理事		1					1
常務理事 兼 事務局長		1					1
総務課	課長	1					1
	総務係	4		1		4	9
	経営企画係	2		2	1		5
	松北事業所(松江社協介護センター)	1		4		6	11
	松東事業所(美保関介護センター)駐在含	2	3	8	8	8	29
	松南事業所(松南介護センター)			4		6	10
	湖南事業所(宍道介護センター)		1	5	1	7	14
	八雲児童センター			2		3	5
	介護認定調査	2	1	18		6	27
地域福祉課	課長	1					1
	地域福祉係	8		1			9
	ボランティアセンター	2		2			4
生活支援課	課長	1					1
	生活支援係	4		10			14
	くらし相談支援センター	3		8			11
	権利擁護推進センター	1		1			2
地域包括ケア推進課	課長	1					1
	地域包括ケア推進係	1		2			3
	地域包括支援センター	23	4	22			49
	在宅医療・介護連携支援センター	1		1			2
計		60	9	91	10	40	210

※正規職員数には市からの派遣職員を含む。